

第五二 國道七號線(千葉)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費豫算二十萬圓ヲ以テ千葉縣千葉郡津田沼町地内延長一千六百四十二米及八年度時局匡救事業ニ依リ路床ヲ完了セシ同郡幕張町竝檢見川町地内延長一千九百七十九米ノ車道輔裝ヲ施行スルモノトス

計畫大要

津田沼町地内ハ人家稠密シ而モ幅員狹隘漸ク七米五内外ニ過ギザル砂利道ニシテ輓近重交通頻繁ノ爲メ常ニ砂塵ヲ舉ゲ沿道住民ノ蒙ル損失及不安大ナルノミナラズ路面ノ損傷亦著シク其維持頗ル困難トナレリ

本計畫ニ於テハ概ネ現路線ヲ利用シ其片側ノ孰レカヲ擴張シ家屋及障害物移轉費其他補償費等ノ輕減ヲ計ルト共ニ屈曲ヲ緩和シ最小屈曲半徑九十五米、縱斷勾配ハ最急百分ノ一其延長三十米、最小五百分ノ一トス

有効幅員ハ十一米四ニシテ中央八米五ヲ車道ニ兩側各一米四五ヲ歩道トシ尙其外側ニ幅五十五糎ノ側溝ヲ設ケ總幅員ヲ十二米五トス而シテ終點寄百六十五米ヲ除キ其他ハ凡テ歩車道ヲ高低區別シ車道橫斷勾配ハ四十分ノ一、拋物線型ヲ用ヒ歩道ハ車道ニ向ヒ五十分ノ一勾配トス

路面排水ニハ歩車道境ニ街渠ヲ設ケ三十米間隔ニ街渠柵ヲ設置シ之ニ汚水ヲ聚集セシメ更ニ排水支管ニ依リ側溝ニ導キ横斷管渠ヲ通ジテ在來ノ水路ニ流下セシム

車道輔裝ハ主トシテ厚六糎ノトベカ式瀝青コンクリートナルモ土地ノ狀況ニ依リ二層式（基層厚十二糎配合一、三、六コンクリート、表裝厚三糎配合一、二、四碎石コンクリート）トシ適當ニ施行セントス

施工狀況

本年度起工セシ津田沼町地内ニ於テハ用地買收並障害物移轉ニ關スル協議ヲ開始スルト共ニ測量其他施行準備ニ努メ其間幕張並檢見川兩町地内ニ於ケル車道鋪裝ニ着手セリ内幕張町及一部檢見川町地内延長八百七十九米ハトベカ式瀝青コンクリートニ依リ面積九千二十平方米ヲ殘一千百米ハ所定ノ二層式ニ依リ面積九千七百七十一平方米ヲ施行シ九月十五日迄ニ何レモ之ヲ完了セリ

津田沼町地内切取土量ハ一千二百十五立方米、盛土量二千九百三十二立方米ニシテ切取土ハ全部盛土ニ利用シ不足土ハ附近民有地ヨリ採取補充セリ

排水設備ハ土工ノ進捗ニ伴ヒ側溝内法四十糎、深四十五糎乃至六十糎コンクリート構造、兩側延長三千三十三米及街渠幅五十糎ノモノ、兩側延長二千八百八十九米ヲ施行シ在來ノ横斷管渠ヲ撤去シテ新タニ内徑四十五糎又ハ六十糎ノ鐵筋コンクリート管ヲ敷設シ其他ニ幅一米五、高一米一ノ鐵筋コンクリート函渠及徑間一米八ノ暗渠ヲ設置何レモ年度内之ヲ竣功セリ

路面ハ中央車道ニ當ル在來道路ニハ厚五糎ニ碎石基礎ヲ施シ擴張部及地盤軟弱ナル箇所ニハ厚五糎ニ並砂利又ハ碎石ヲ敷均シ充分輾壓ヲ加ヘ之ニ厚十二糎配合一、三、六ノコンクリート基礎ヲ施行シ路床ヲ

完了セシガ鋪裝ハ次年度へ繰越トナレリ

津田沼幕張兩町海岸沿道約五百十五米ハ波浪ノ爲メ法面浸蝕ノ虞アルニ依リ直高二米乃至二米三、上部一割及一割二分、下部二割、厚十二糎、鐵網入コンクリート法固ヲ施行シ法面ニハ二段乃至三段ノ波止ヲ、頂部ニハ高二十糎ノ駒止ヲ施シ何レモ之ヲ竣功セリ

本年度使用セシ勞働者延人員ハ二萬九千六百七十五人ニシテ豫定人員ニ達セザリシガ工事竣功迄ニハ之ヲ超過スルニ至ルベシ

本年度工事竣功高ハ十七萬六千六百十六圓ニシテ之ヲ工費豫算二十萬圓ニ比較スルトキハ八割八分ノ竣功ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本工(道)			一、九七五米	8118.51円		一、九七五米	8118.51円	0.00%
工事(雜)			六段	277.00円		六段	277.00円	0.00%
用地								
器具								
機械								
雜費								
共濟組合給與金								
總計				12325.51円		12325.51円		0.00%

第五三 國道八號線(山梨)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ工費豫算六萬圓ヲ以テ山梨縣北都留郡上野原町地内延長一千百米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

改良區間ハ舊甲州街道ノ一部ニ屬シ帝都ト甲信地方ヲ聯絡スル樞要路線ナルモ其地域山間部ナルト幅員狹隘且急勾配ヲ交ヘ加之近時高速度交通機關ノ發達ニ伴ヒ一般ノ交通極メテ危險トナレリ
本計畫ニ於テハ起點附近ニ於テ大屈曲及急勾配ノ路線ヲ避ケ同町北部ニ新路線ヲ設ケ北西ニ進ミ市街部東端ニ於テ再ビ現道ニ聯絡セシム有効幅員ハ六米ニシテ步車道ヲ區別セズ橫斷勾配ハ二十分ノ一ヲ附シ最急縱斷勾配ハ十五分ノ一、延長四百六十米、最小屈曲半徑九十米、延長百二十九米ナリ
路面ハ砂利敷ニシテ切取及盛土法面ハ一割乃至一割五分勾配トシ各張芝ヲ爲シ土質及地形ヲ斟酌シテ練石積擁壁ヲ設ケ安定ニ資スルコトトセリ
排水設備ハ側溝ヲ設ケ郊外部ハ幅四十五糎、深四十五糎乃至三十三糎ノ練石積ニ依リ市街部ハ幅六十糎、深八十糎コンクリートニ依リ施行シ水路橫斷箇所ニハ暗渠ヲ設ケントス

施工狀況

事業開始ハ十年一月四日ニシテ先ヅ事務所ヲ上野原町ニ設ケ所要土地ノ買收協議ヲ進メ同月十六日ヨリ土工工事ニ著手セリ掘鑿及切取箇所ニ於テハ豫想外ノ軟岩層アリ之ガ爆破及人力掘鑿等容易ナラズ且湧水ノ爲メ作業困難ニ陥リ掘鑿土量一萬八千二百七十立方米ヲ盛土箇所へ搬入セシガ其他ハ翌年度へ繰越トナレリ

本年度使用セシ勞働者延人員ハ僅ニ六千六百八十人ニ過ギザリシガ工事竣功迄ニハ豫定人員ヲ超過スルニ至ルベシ

本年度工事竣功高ハ一萬七百八十圓ニシテ之ヲ工費豫算六萬圓ニ比較スルトキハ一割八分ノ竣功ナリトス其工事竣功表ハ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工（道）				四八〇〇〇圓		四八〇〇〇圓	〇・八
工事費				三〇八〇〇		三〇八〇〇	
用地費				三〇七		三〇七	
器具費				一〇〇		一〇〇	
機械費				一〇〇		一〇〇	
雜費				一〇〇		一〇〇	
共濟組合給與金				一〇		一〇	
總計				一〇一、一〇〇		一〇一、一〇〇	〇・一〇

第五四 國道八號線(猿橋)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ當初工費豫算二十五萬圓ヲ以テ山梨縣北都留郡梁川村ヨリ同郡富濱村ニ至ル延長四千九百三十五米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後梁川村地内ニ於テ約五百三十九米ヲ追加シ總延長ヲ五千四百七十四米ニ改メ工費三萬六千圓ヲ増額シ二十八萬六千圓ヲ以テ施行中ノ處一部未竣功ニ終リシニ依リ九年度之ヲ繼續施行スルコトナレリ

計畫大要

本國道ハ東京市ヨリ八王子、甲府兩市ヲ經テ長野縣下諏訪町ニ至リ本州中央部ヲ縱走シ京都市ニ達スル樞要路線ナリ改良區間ノ現道ハ其起點附近ヨリ終點ニ至ル迄鐵道中央本線ト略並行シ途中二、三ノ踏切ヲ存シ富濱村大字鳥澤附近ヲ除ク外概ネ桂川左岸斷崖ノ上ヲ走り屈曲多ク且急勾配ヲ交ヘ幅員狹小ニシテ交通上頗ル危險ナリトス

本計畫ニ於テハ地形ノ關係上完全ナル路線ノ改良ハ不可能ナルヲ以テ交通上著シキ障害アリト認ムル富濱村地内二、三箇所ハ新ニ路線ヲ選定シ附替ヲ行ヒ其他ハ概ネ現道ニ改良ヲ施スコトトシ以テ屈曲ト勾配ノ緩和ヲ計レリ其有効幅員ハ六米ヲ標準トセルモ富濱村字鳥澤地内ノ如ク幅員ニ餘裕アル箇所ニ於テハ適當ニ施行シ橫斷勾配ハ二十分ノ一ヲ附シ縱斷勾配ハ最急二十分ノ一、最小屈曲半徑ハ三十米ナ

リ

路面ハ特殊ノ部分ニ限リ砂利敷トシ其他ハ爆破岩石ヲ碎破使用シ碎石仕上トス

擁壁ハ切取盛土法先防護ノ爲メ直高及地形等ヲ斟酌シコンクリート練石積配合一、四、八ヲ用ヒ擁壁又ハ盛土肩ニハ玉石コンクリート配合一、三、六ヲ築造ス

排水設備ニハ側溝ヲ設ケ之ニ流入スル汚水ハ暗渠ヲ通ジテ附近ノ溪流ニ流下セシム暗渠ハ内徑十五糎乃至四十五糎ノ鐵筋コンクリート管トス

橋梁ハ四箇所ニシテ梁川村丹澤ニ架設スル徑間四十二米ノ鐵筋コンクリート鋼構橋ヲ主トシ富濱村鳥澤地内ニ於テ鐵道ト平面交叉ヲ避クル爲メ架設スル跨線橋徑間八米ノ工型鋼桁橋及新道ヲ横斷スル同村瀧ノ澤ニ架設スル徑間六米ノ鐵筋コンクリート無鉸拱橋竝終點中央線架道橋架替等ナリ

施工狀況

工事ハ前年度ニ於テ約六分通竣功シ繰越ノ主ナルモノハ土運搬、路面工、橋梁及梁川村地内追加區域延長五百四十一米ニ於ケル諸工事ナリ

内土工ハ其最モ大ナルモノニシテ切取土量二萬七、六百六十立方米、盛土運搬一萬八、千、百九十立方米ヲ算ス是等ハ前年度ニ倣ヒ岩石ハ火藥爆破ヲ行ヒ其他ハ人力掘鑿ニシテ距離ノ遠近ニ依リ軌條竝土運車ヲ使用又ハ貨物自動車ニ依リ之ヲ所要箇所ヘ搬入シ地均シノ上輾壓ヲ施シタル後碎石或ハ砂利敷ヲ施行シ切取及盛土法先ハ其安定ヲ期スル爲メコンクリート練石積擁壁ヲ施行シ全部之ヲ竣功セリ

鐵道、河川、溪澤等横斷箇所ニ架設スベキ橋梁ハ直轄施行三、鐵道省ニ委託セシ跨線橋一、計四箇所ニシテ何

レモ前年度一續工之ヲ竣功セシメ側溝及暗渠等ノ排水設備モ相次デ竣功セリ
 斯テ駒止及境界杭等設置ノ後跡片付ヲ行ヒ年度内全部之ヲ完成セリ
 本年度使用セシ勞働者延人員ハ三萬八千九百八十人ニシテ前年度使用人員ヲ合シ十一萬二千六百二十
 七人トナレリ其工事竣功表ハ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道	米	1,691,011	米	826,000	米	2,517,011
工橋	箇所	1,670,000	箇所	1,111,111	箇所	2,781,111
工事	米	1,670,000	米	1,111,111	米	2,781,111
費雜	米	1,670,000	米	1,111,111	米	2,781,111
用費	米	1,670,000	米	1,111,111	米	2,781,111
器具	米	1,670,000	米	1,111,111	米	2,781,111
雜費	米	1,670,000	米	1,111,111	米	2,781,111
共濟組合給與金	米	1,670,000	米	1,111,111	米	2,781,111
總計	米	1,701,111	米	1,127,111	米	2,828,222
歩	歩	1,000	歩	1,000	歩	2,000
竣功	竣功	1,000	竣功	1,000	竣功	2,000
合計	合計	1,000	合計	1,000	合計	2,000

第五五 國道八號線(岐阜)改良工事

時局匡救

緒言

本國道改良工事々業區域ハ岐阜縣稻葉郡加納町柳町ヨリ同町長刀堀壹丁目ニ至ル區間ニシテ舊中仙道ニ屬シ産業上、交通上共ニ重要ナル八號路線ノ一部ナリ

然ルニ改良區間ナル從來ノ國道ハ往昔中仙道ノ一要驛トシテ相當ノ殷賑ヲ極メシモ街路ハ舊態ノママニシテ屈曲多ク甚狹隘ナル上ニ戶檐參差トシテ現時ノ交通狀勢ニ適セズ頻繁ナル交通運輸上頗ル困難ヲ來シ且危險ニシテ之ガ改良ハ最モ急務トセル處ナリ

偶々昭和七年度政府ニ於テハ時局ニ鑑ミ産業開發事業トシテ十二號國道ニ屬スル羽島郡柳津村ヨリ稻葉郡厚見村ニ至ル延長二千五百米ヲ、同八年度ニ於テハ時局匡救事業トシテ其終點ヨリ加納町ニ至ル一千九百七米ノ區間ヲ工費各二十五萬圓宛ヲ以テ改良工事ヲ施行シ本年度ハ更ニ總工費十五萬圓ヲ計上シ延長四百七十一米ノ接續工事ヲ年度内ニ竣功セシムル豫定ヲ以テ直轄施行スル事トナリシモノナリ

仍テ昭和九年四月一日ヨリ土地買收調査ヲ始メ買收及物件移轉ノ進捗ニ從ヒ九月一日ヨリ本工事ニ着手橋梁材料採集、溝橋、土工、排水溝、路面工ノ順序ニテ夫々工事ヲ施行シ銳意事業ノ進捗ヲ圖レリ然ルニ移轉物件中ノ最難關タル加納小學校ハ遂ニ年度内ニ移轉不可能ニ終リタル結果從ツテ全延長ノ約二割五分ヲ占ムル同小學校敷地内ニ於ケル工事ハ未着手ノ儘年度ヲ經過セリ

計畫大要

本工事ノ計畫線ハ岐阜市都市計畫既定中心線ヲ其儘踏襲シテ本工事ノ中心線ト爲セリ
 延長四百七十一米、有効幅員十五米ニシテ路面構造ハ中央九米幅ヲ車道トシ幅五十糎ノ混凝土街渠ヲ設
 ケ歩道ハ幅三米ニシテ歩道内ニ幅四十糎ノ排水側溝及歩車道境界ニ縁石ヲ設ケ路面ハ歩車道共敷砂利
 トス

工事ハ土工、橋梁、溝橋、排水溝、路面、取付道路、材料採取ノ各工種ニ分類設計シテ施行セリ

施工狀況

工事執行ニ關シテハ岐阜縣稻葉郡加納町ニ國道改良事務所ヲ設置シ木曾川、東丸ノ兩派出所ヲ設ケ木曾
 川派出所ハ材料採集ヲ東丸派出所ハ其他ノ全本工事ヲ擔當施行セシメタリ而シテ年度内ニ七割五分ノ
 竣功歩合ヲ以テ年度ヲ經過セリ

用地買收ニ付テハ當初ヨリ極力調査ヲ急ギ從來ノ起工承諾ノ手續キヲ省キテ初メヨリ本契約ヲ爲シ急
 速ニ着工スル事ニ務メタレ共市街地ニテ特ニ移轉家屋多キ爲メ移轉ニ時日ヲ要シ九月初ニ至リ漸ク一
 部ノ橋梁工事ニ着手スル事ヲ得タリ其他ハ順次移轉ヲ完了セルモ小學校ノミハ諸種ノ困難ナル事情伏
 在セル爲メ年度内ニハ一少部分ノ移轉ヲ爲シタルニ止リ大部分ハ次年度ニ於テ移轉スル事トナレリ而
 シテ年度内土地買收三十三件、物件移轉五十七件共全部承諾支拂濟トナレリ
 本年度各工種別ニ依ル施行狀況ハ次ノ如シ

土工ハ全區域ニ互リ切土一千百七十立方米、盛土五百立方米ヲ施行スルモノニシテ切土ノ内良質土砂ハ
 盛土ニ利用シ其不足分ハ他ヨリ採集運搬シ盛土スル計畫ナリ二月一日工事ニ着手スルヤ先ヅ移轉家屋

ノ跡地掃除ヲ爲シ續テ切土及盛土ヲ施工シ三割五分ノ竣功ニテ年度ヲ經過セリ

橋梁ハ加納町内ヲ流ルル清水川ニ架設サレタル沓井橋ヲ取毀チ更ニ新橋ヲ架設スルモノニシテ其形狀ハ支間七米三十糎二連中央ニ支柱ヲ有スルラーメン式丁型桁トシ橋長十五米二十糎有効幅員十五米ノ鐵筋混凝土橋ナリ本橋工事ハ本年度工事費ノ大半ヲ占ムル主要工事ニシテ九月一日諸工事ニ先立チ着手シ年度内ニ竣功セリ

路面工ハ全區域ノ路面仕上ヲ爲スモノニシテ有効幅員十五米ノ内中央九米幅ヲ車道トシテ其内歩道寄りニ幅五十糎ノ混凝土街渠ヲ設ケ歩道ハ幅三米トシ其内ニ幅四十糎ノ排水溝(別設計施工)及歩車道境界ニ緣石ヲ設ク路面ハ歩車道共敷砂利ノ計畫ナリ三月一日ニ着手シ一割九分ノ竣功ヲ以テ年度ヲ經過セリ

排水溝ハ全區域ニ互ル路面排水ノ目的ヲ以テ道路ノ兩側即チ歩道内ニ内法幅四十糎ノU字型混凝土排水溝ヲ築造スルモノニシテ二月一日着手年度内六割ノ竣功ニテ年度ヲ經過セリ

溝橋ハ新國道横斷下水路ニ内徑四十五糎及六十糎ノ鐵筋混凝土管ヲ五箇所ニ伏設スルモノニシテ一月一日着手年度内ニ竣功セリ

材料採集工ハ各工事ニ使用スル砂利、砂、礫及玉石ヲ木曾川河敷内ニ於テ直營採集シ所要ノ現場迄運搬スルモノニシテ採集ニハ沿岸ノ船夫ヲ使役シ運搬ハ馬車及貨物自動車ヲ用ヒ各工事ノ必要ニ應ジ採集運搬ヲ爲シ年度内四割八分ノ竣功ニテ年度ヲ經過セリ

本事業ニ使役スル人夫ノ出役ニ關シテハ現下ノ失業狀態ニ鑑ミ之ガ緩和ニ資スベク着工當初ニ於テ名古屋地方職業紹介事務局、岐阜縣社會課及關係市町村トノ打合セヲ爲シ時局匡救ノ政策ニ萬遺憾ナキヲ

期シタリ而シテ年度内使役ノ延人員ハ職業紹介所利用ニ依ルモノ及生活困窮者ヨリ採用ノモノヲ合セテ一萬二千九十人、其他ニ依ルモノ一千二百六十九人、合計一萬三千三百五十九人ナリ尙其他家屋移轉ノ爲メ約三萬八千圓ノ移轉補償料ヲ支拂ヒタルヲ以テ是等ノ移轉者ニ於テ使役ノ爲職、大工、左官、屋根職、其他日傭方等ノ延人員ハ本工事使役數ヲ遙カニ凌駕シ二萬四千人以上ニ達スル見込ミナリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道				四、八七三		四、八七三	〇・五
工事				一、三九九		一、三九九	一・〇〇
費用				二、八五七		二、八五七	〇・四六
器材				九、七〇〇		九、七〇〇	
用地				一、六一		一、六一	
機械				一一〇		一一〇	
營繕				一一〇		一一〇	
雜費				一、〇〇〇		一、〇〇〇	
共濟組合給與金				一、三九九		一、三九九	
總計				一三、一七三		一三、一七三	〇・八

第五六 國道九號線(板橋)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費豫算五萬圓ヲ以テ東京市板橋區志村清水町地内延長百五米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

改良區間ハ都市計畫東京地方委員會ノ決定線ニ依リ新道ヲ開設スルモノニシテ起點ヲ發シ現國道ノ西側ヲ殆ド並行北進シ元板橋警察署前ニ於テ既設國道ニ聯絡スルモノノ一部ナリトス
有効幅員ハ二十五米ニシテ歩車道ヲ高低區別シ中央十六米六ヲ車道ニ宛テ兩側各四米二ヲ歩道トス車道ハ横斷勾配五十分ノ一ヲ附シ双曲線形トシ二層式鋪裝基層厚十五糎配合一、三、六コンクリート、表層厚五糎トベカ式瀝青コンクリートヲ施シ歩道ハ車道ニ向ヒ勾配五十分ノ一直線ニシテコンクリート平板ヲ鋪設シ車道寄ニハ間隔約八米毎ニコンクリート塊ノ植樹根圍ヲ設クルコトトセリ
排水設備ハ車道ノ兩側ニ街渠ヲ設ケ約三十米毎ニ街渠柵ヲ設置シ官民地境ニハ適當ノ間隔ニ集水柵ヲ設ケ是等ニ聚集スル汚水ハ何レモ歩道下ニ設クル排水管ニ導キ既設排水管ニ聯絡流下セシム

施工狀況

施工ニ關シテハ前年度設置ノ改良事務所ヲ其儘使用シ用地買收並障害物移轉等ノ進捗ニ伴ヒ九月中旬先ヅ土工工事ヲ開始セリ切取土量ハ三千八百二十立方米ニシテ一部盛土ニ利用シタル外大部分ハ之ヲ民地ニ棄捨處分セリ

路面ハ土工終了箇所ヨリ漸次六廻及八廻ノ道路輾壓機ヲ使用輾壓ノ上厚六糎乃至十糎ニ砂利敷ヲ行ヒ再ビ輾壓後所定ノ基礎コンクリート工ニ着手シ總面積一千六百九十四平方米ノ内八百十九平方米ヲ施行シ其他ハ表層工ト共ニ翌年度へ繰越トナレリ

排水設備ハ車道兩側延長百八十五米ニL型街渠ヲ步道下延長二百七米ニハ排水管ヲ設置セリ其基礎ハ何レモコンクリート打トシ排水管ハ徑五十三糎乃至七十五糎ノ鐵筋コンクリート管ヲ使用シ三箇所ニ人孔ヲ設ケタル外街渠柵及集水柵等施行ニ努メシガ一部ハ遂ニ翌年度へ繰越トナレリ

本年度使用セシ労働者延人員ハ四千六百七十八人ニシテ既ニ豫定人員ヲ超過セシガ工事竣功迄ニハ尙多數ノ人員ヲ使用スルニ至ルベシ

本年度工事竣功高ハ四萬四千六十四圓ニシテ之ヲ工費豫算五萬圓ニ比較スルトキハ八割八分ノ竣功ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

費用	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工(道)				六五,四〇〇		六五,四〇〇
工事費(雜)				〇一五		〇一五
用地費			二段	七五,〇〇〇	二段	七五,〇〇〇
合計				一四一,四〇〇		一四一,四〇〇
竣功率						八割八分

總計	共濟組合給與金	雜費	器具機械費
810.88	117.428	82.2	611.232
810.88	117.428	82.2	611.232
0.00			

第五七 國道九號線(志村)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ工費五十萬圓ヲ以テ東京市板橋區志村清水町ヨリ同區志村町ニ至ル延長一千三百六十五米ヲ施行中ノ處一部未竣功ニ終リシト尙延長三十米ヲ追加施行スルコトトナリ九年度之ヲ繼續施行セリ

計畫大要

本國道ハ東京ヨリ浦和大宮ヲ經テ高崎ニ至リ長野秋田方面ニ通ズル十號國道ヲ分岐シ前橋ニ至リ北走シテ三國峠ノ嶮ヲ越エ新潟ニ達スル樞要路線ナリ改良區間ハ舊中山道ノ一部ニ屬シ幅員七米乃至八米ノ平坦ナル砂利道ニシテ人家聯檐シ且輓近自動車交通著シク激増セルヲ以テ現状ノ儘ニテハ一般交通危險ナルノミナラズ路面ノ維持頗ル困難ナリ

計畫路線ノ中心線ハ都市計畫委員會ニ於ケル決定線ニ據リ屈曲半徑ハ起點附近ニ於ケル百二十米ヲ最小トシ其他ハ概ネ直線ナレドモ志村町内ニ存在セル左右一對ノ史蹟志村一里塚ハ兩側共之ヲ保存ノ爲メ同附近ニ於テ一部中心線ヲ左側ヘ約六米移動セル爲メ半徑三百米及一千米ノ曲線二箇所ヲ挿入ス有効幅員ハ二十五米ニシテ歩車道ヲ高低區別シ中央十六米六ヲ車道ニ兩側各四米二ヲ歩道トス縱斷勾配ハ三百分ノ一乃至七分ノ一ニシテ最急百二十分ノ一其延長約五十米ナリ橫斷勾配ハ車道ヲ五十分ノ

一 双曲線トシ歩道ハ五十分ノ一直線トス

車道ハ先路盤ヲ充分ニ輾壓シ六糎厚ニ砂利ヲ敷均シ再輾壓ヲ行ヒ規定高ニ施行シ厚十五糎ノ基礎コンクリート配合一、三、六ヲ打チ表層厚五糎ノトベカ式瀝青コンクリートヲ鋪設セントス

歩道ハ其全幅ニ方三十六糎厚六糎ノコンクリート平板及瀝青滲透煉瓦ヲ敷詰メ車道寄ニハ約八米間隔ニ街路樹根圍用ブロックヲ設置セントス

排水設備ハ車道兩側ニ街渠ヲ歩道外側ニハ側溝ヲ設ケ各適當ノ間隔ニ柵ヲ設置シ之ニ集注スル汚水ハ何レモ排水支管ニ依リ歩道下中央ニ埋設スル排水管ニ導キ附近ノ水路ニ排除セシム

施工狀況

諸工事ハ前年度ニ於テ既ニ八、九分通竣功シ線越ノ主ナルモノハ路面鋪裝及追加區域ニ於ケル土工以下ノ諸工事ナリ

内土工ハ殆ド切取ニシテ歩道下ニ設クル排水管及街渠等ノ施行ト同時ニ地均シヲ行ヒ六廔及八廔輾壓機ヲ使用シ充分輾壓ヲ施シ路床ヲ竣功セリ

路面鋪裝ハ前年度ニ於テ線越トナレル面積二萬二千七百六十八平方米ノ上層及追加區域ニ於ケル前記路床面積四百八十七平方米ニ所定ノ二層式ヲ施シ歩道ハコンクリート平板又ハ煉瓦張ニ依リ何レモ三月十五日迄ニ全部之ヲ竣功セリ

以上主要工事ハ殆ド終了セシガ尙歩道ニハ地元町會ヨリ寄贈セル街路樹三百餘本ヲ植栽シ史蹟志村一里塚ハ土留ニ間知石ヲ用ヒ法面ハ張芝ヲ施シ塚ノ周圍ニハ小歩道ヲ廻ラス等風致ヲ損ハザルニ努メ官

民地境界ニハ駒止柵ヲ設置セリ
 スクテ見張小屋撤去運搬等跡片付ヲ行ヒ三月末日全部之ヲ完成セリ
 本年度使用セシ労働者延人員ハ九千五百三十七人ニシテ前年度使用人員ヲ合シ四萬三千七百七人トナ
 レリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本道		100,888円	1,145米	88,316円	1,145米	189,204円	1.00	
工事		4,838		901		5,739	1.00	
費			一段	1,847		1,847		
用	三段	120,048		10,814	二段	110,234	1.00	
器		4,555		941		5,496		
具		28,987		7,782		36,769		
雜		898		151		1,049		
共濟組合給與金								
總計		134,331		107,844		242,175	1.00	

第五八 國道九號線(浦和)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ工費豫算三十二萬三千五百圓ヲ以テ埼玉縣浦和市字矢頭ヨリ同縣北足立郡大宮町大字大宮ニ至ル延長五千四百四十三米ヲ施行中ノ處一部未竣功ニ終リシニ依リ九年度之ヲ繼續施行スルコトトナレリ

計畫大要

改良區間ハ舊中山道ノ一部ニシテ東京市ニ接近シ起終兩端ニ至レバ人家櫛比シ幅員約十米ナルモ電柱類ノ爲メ有効幅員ハ七米乃至八米五トナリ其他ノ沿道ハ人家稍稀薄ニシテ兩側ニ松並木ヲ存シ風致良キモ其幅員ハ漸ク六米五乃至六米ニ過ギズ而モ地方産業ノ發達ニ伴ヒ輓近自動車交通益々増加シ現狀ノ儘ニテハ一般交通上頗ル危險ナリ

改良路線ハ七年度施工ノ終點浦和市字矢頭ヨリ現道ニ取付ケントスル時ハ家屋移轉並浦和市北端ニ於ケル省線跨線橋ノ擴張其他大宮町内道路擴張等巨費ヲ要スルヲ以テ新ニ路線ヲ選定セリ

新路線ハ前記矢頭ヲ發シ大體現在路線ノ西方約七百米ヲ距テテ稍之ニ並行北進シ大宮町ノ北方ニ於テ現道ニ聯絡ス有効幅員十五米ニシテ浦和及與野兩市街地ハ其中央十米ヲ車道ニ宛テ兩側各二米五ヲ歩道トシ境界石ニ依リ之ヲ區畫ス車道ハ橫斷勾配五十分ノ一拋物線形トシ起點ヨリ四千五百十米間ノ中

中央九米ハ二層式鋪裝（基層厚十三糎、配合一・三・六、コンクリート表層厚五糎、配合一・一・五、三碎石コンクリート）トシ地盤軟弱ノ箇所ニハ基層ニクリンブ鐵網ヲ挿入シ之ヲ補強ス歩道ハ與野町地先延長六百十四米ヲコンクリート鋪裝トシ其他ハ砂利敷ニシテ歩車道區別ナキ部分ハ鋪裝ノ兩側五十糎ヲ砂利敷トス以下與野町北端ヨリ終點ニ至ル間ハ鋪裝ヲ後年度ニ譲リ路床工ニ止ム縱斷勾配ハ最大七十八分ノ一、其延長百四十米、屈曲半徑最小四百米ニシテ交角三十七度ナリ

排水設備ハ浦和、與野兩市街地ニ於テ車道兩側ニ街渠ヲ設ケ間隔約三十米毎ニ街渠柵ヲ設ケ之ニ聚集スル汚水ハ排水管ニ依リ歩道路端ニ設クル幅五十糎ノU型側溝ニ導キ附近ノ水路ニ排除セシム橋梁ハ用惡水路ニ架スルモノ二箇所ニシテ何レモ鐵筋コンクリート床版橋トシ純徑間二米五及同三米八ナリ

施工狀況

本工事ハ前年度ニ於テ九分通ヲ竣功シ繰越トナリシモノハ浦和市寄延長七百七十米及與野町並同町以北大宮間ニ於ケル土工、排水設備及路面工等ナリ

内土工工事ハ大宮及三橋村兩地内盛土ニシテ用土ハ與野町地内切取土ヲ利用シ六庭輕便軌條使用人力トロ運搬ニ依リ搬入地均ノ上充分輾壓ヲ行ヒ延長一千三十二米八ノ路床ヲ完了セリ

排水設備ハ與野町地内ニ於テ側溝延長八百三十三米四及排水管十五米、側溝柵四箇所ヲ施行シ九月十五日之ヲ竣功セリ

路面ハ起點ヨリ四千四百十米以北、與野町地内車道部延長百米及歩道延長六百十四米ニ所定ノ鋪裝ヲ

施シ七月十五日之ヲ竣功セシメ次デ全區域ニ互リ境界杭ヲ設置シ尙浦和市寄七百七十米ノ區間ニ於テ地元町村寄附ニ依ル街路樹(ブラタナス)三百七十本ノ植栽ヲ完了セシメ見張小屋撤去及跡片付等九月末日ニ至リ全部完了セリ

本年度使用セシ勞働者延人員ハ八千二百四十六人ニシテ前年度使用ノ人員ヲ合シ六萬六千九百一十一人トナレリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	1010.00米	1048.00円	470.00米	147.00円	1480.00米	1195.00円	100%
工橋	箇所二	580.00	箇所	—	箇所二	580.00	100%
事橋	—	56.00	—	12.00	—	68.00	100%
費用	—	—	—	—	—	—	—
用地	三段	793.00	一段	—	三段	793.00	100%
器具	—	24.00	—	—	—	24.00	—
機	—	24.00	—	—	—	24.00	—
械	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	804.00	—	11.00	—	815.00	—
總計	—	1101.00	—	159.00	—	1260.00	100%

第五九 國道九號線(大宮)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費豫算二十六萬圓ヲ以テ埼玉縣北足立郡大宮町大字大宮ヨリ同郡日進村大字大成ニ至ル延長三千十米及前年度時局匡救事業ニ依リ路床ヲ完了セシ同郡與野町、大宮間延長九百三十二米八ノ車道鋪裝ヲ施行スルモノトス

計畫大要

改良區間ハ大宮町ヲ南北ニ貫通スル主要道路ナルモ同町北端ニハ省線東北本線及總武鐵道トノ平面交叉アリ且沿道ハ人家櫛比シ其兩側ニハ電柱亂立セル爲メ有効幅員漸ク八米内外ニ過ギズ而モ自動車運輸ハ日ヲ逐フテ激増シ一般交通上頗ル危険トナレリ

計畫路線ハ八年度施行ノ終點ヨリ接續シ日進村ニ入り省線高崎線ヲ跨線橋ニ依リ橫斷シ同村大字大成地内ニ至リ現國道ニ聯絡ス有効幅員ハ十五米ニシテ縣道浦和、川越線交叉前後市街部延長約七百七十米ノ區間ハ歩車道ヲ高低區分シ中央十米ヲ車道ニ宛テ兩側各二米五ヲ歩道トス最小屈曲半徑ハ五百米ニシテ最急縱斷勾配ハ(跨線橋躍付道)三十五分ノ一トス橫斷勾配ハ車道部五十分ノ一拋物線形トシ歩道ハ市街地五十分ノ一、郊外地ハ二十五分ノ一直線トス
路面鋪裝ハ與野大宮間ニ一層式厚十五糎配合一、二、四砂利コンクリートヲ施シ其他ハ之ヲ後年度ニ讓レ

排水設備ハ路面排水竝水路横斷箇所ニ於ケル施設ニシテ歩車道ヲ區別セル部分及土砂切取箇所ニハ側溝ヲ設クル外車道兩側ニ街渠ヲ設ケ適當ノ間隔ニ同柵ヲ設置シ聚集セル汚水ハ排水支管ニ依リ之ヲ側溝ニ導キ附近ノ水路ニ排除セシメ水路横斷箇所ニハ水拔用トシテ鐵筋コンクリート管渠又ハ函渠ヲ布設シ疏水上支障ナカラシム

橋梁ハ省線高崎線跨線橋一箇所ニシテ橋臺ハ基礎杭打半重力式コンクリート、上部ハ斜交四十五度、純徑間五十米ノワーレン直弦鋼構橋ナリ

施工狀況

施工ニ關シテハ與野町ニ改良事務所ヲ設ケ用地買収及障害物移轉等ノ進行ヲ俟テ七月一日先ヅ準備工ニ着手シ次デ土工工事ヲ開始セリ

土工ノ大部分ハ高崎線跨線橋躍付道ニ要スル盛土運搬ニシテ一部切取土ヲ利用シタル外ハ概ネ日進村地内畑地ヨリ補償採取シ六廳輕便軌條使用人力竝馬匹トロ運搬ニ依リ總土砂六萬七千七十立方米ノ内四萬九千四百五十五立方米ヲ搬入シ其他ハ未了ニ終レリ

排水工ハ日進村大字大成地内水路横斷箇所ヨリ着手シ惡水路水拔用トシテ内徑四十五纏乃至七十六纏鐵筋コンクリート管渠八箇所及純徑間一米二十纏ノ鐵筋コンクリート函渠一箇所ヲ布設シ十一月二十五日之ヲ竣功セシメ次デ市街部ニ於ケル側溝及街渠等ヲ施行セリ側溝ハU字型ニシテ兩側延長一千四百九十二米及街渠延長六百二十四米ヲ竣功セシメ其他ハ未了ニ終レリ

路面舗装ハ與野大宮間ニ於テ所定ノ一層式ニ依リ車道面積八千八百六十二平方米ヲ施行シ地盤軟弱ナル箇所ニハ補強トシテ特ニ鐵網ヲ挿入シ年度末迄ニ全部之ヲ竣功セリ
 橋梁ハ跨線橋一箇所ニシテ橋臺基礎根掘ニ着手シ南側ニ於ケル杭打ヲ施行シタルニ過ギズ其他ハ次年度へ繰越トナレリ

本年度使用シタル労働者延人員ハ三萬九百四十八人ニシテ豫定人員ニ達セザリシガ工事竣功迄ニハ之ヲ超過スルニ至ルベシ

本年度工事竣功高ハ十三萬三千七百八十四圓ニシテ之ヲ工費豫算二十六萬圓ニ比較スルトキハ五割一分ノ竣功ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道			九段	六七三三三圓		六七三三三圓	〇・八
橋			一所	五、一八五		五、一八五	〇・〇五
工事				七九〇		七九〇	〇・九
費用				三、九四九		三、九四九	
用地				八三七二		八三七二	
器具				二、八四四		二、八四四	
雜費				一一、四一三		一一、四一三	
共濟組合給與金				一、三七八四		一、三七八四	
總計				一三三、七八四		一三三、七八四	〇・八

第六〇 國道九號線(群馬)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ工費豫算二十三萬圓ヲ以テ群馬縣多野郡新町ヨリ同縣群馬郡佐野村大字和田多中ニ至ル延長一萬二百七十八米ヲ施行中ノ處一部未竣功ニ終リシニ依リ九年度之ヲ繼續施行スルコトトナレリ

計畫大要

改良區間ハ舊中山道ノ一部ニシテ昭和六年度失業救濟事業トシテ國ニ於テ其大部分ヲ改良施行シ烏川架設ノ柳瀬橋前後延長一千五百米ハ曩ニ縣ニ於テ之ヲ施行シ未改良ノ部分ハ倉賀野町地内延長一千八百一十一米及終點高崎市寄百八十米ナリトス右ノ内倉賀野町ハ人家櫛比シ有効幅員五米乃至七米ニシテ曲線稍多ク中間ニハ勾配二十八分ノ一延長八十米ノ坂路アリ其他ハ概ネ平坦ナレドモ近時自動車交通ノ増加ニ伴ヒ一般交通上支障尠カラザルナリ尙終點寄ハ七米内外ノ砂利道ニシテ排水不良ノ爲メ路面ハ四型ヲ呈スルニ至リ維持漸ク困難トナレリ

本計畫ニ於テハ倉賀野町地内ハ兩側家屋ノ凸凹狀態ニ鑑ミ略現路線ニ倣ヒ擴張シ三四曲線ヲ設ケ中心線ヲ決定セリ其有効幅員九米ニシテ步車道ヲ區別セズ終點百八十米ハ幅員十二米ニシテ步車道ニ高低區別シ中央七米ヲ車道ニ兩側各二米五ヲ步道トス

排水設備ハ從來横斷伏設セル暗渠ヲ改良シ且兩側側溝ヲ改築又ハ新設シテ排水ヲ容易ナラシメ一部右側ニ於テ火防兼用ノ爲メ施設セル現在用水路ハ從來ノ形狀ヲ參酌シ幅七十糎深八十糎ノ玉石交リ側溝ニ改築シ終點附近ハ歩車道境ニ街渠ヲ設ケ之ニ聚集スル汚水ハ排水支管ヲ通ジ歩道端ニ設クル幅五十糎ノ側溝ニ導キ附近ノ水路ニ排疏セシム

横斷勾配ハ三十三分ノ一乃至五十分ノ一拋物線トシ縱斷勾配ハ最急三十八分ノ一延長百二十米最緩五十分ノ一ニシテ曲線半徑最小三百米ナリ

路面鋪裝ハ全區域ニ互リ施行セントスルモノニシテ道路中央幅概ネ六米トシ一部倉賀野町地内並木ヲ狭ム複道ハ各中央二百米ニ幅四米五ヲ施シ佐野村地内一部延長三百四十七米ハ全幅八米三トス而シテ路盤ノ硬軟其他ノ關係ニ依リ(一)二層式(基層厚十四糎配合一、三、六セメントコンクリート、表層厚四糎配合一、一、五、三碎石コンクリート)又ハ(二)基層コンクリート表層瀝青乳劑(三)瀝青乳劑マカダム(仕上厚七糎)(四)ベカ式瀝青コンクリート等ニ依リ適當ニ施行セントス

終點寄歩道ハ砂利敷トス
橋梁ハ一箇所ニシテ倉賀野町ニ於ケル橋長五米八、幅員九米ノ鋼工桁橋ナリ

施工狀況

主要工事ハ前年度ニ於テ殆ド竣功ヲ告ゲ繰越トナレルハ路面鋪裝ノ一部橋梁一箇所及終點寄百八十米ニ於ケル諸工事ナリ

本年度ニ於テハ改良事務所ヲ高崎市下和田町ニ移轉シ終點附近ニ於ケル用地買改竝障害物移轉ニ關ス

ル協議ヲ行ヒ其間新町及倉賀野町兩地内ニ於テ路床工ニ着手シ前者ハ整形ノ上延長二百米ニ、後者ハ切込砂利厚六糎ニ敷均シノ上延長三百十四米ニ何レモ輾壓ヲ施シ面積三千八十五平方米ヲ竣功セリ
 路面ハ前記二箇所及前年度ニ於テ路床ヲ完了セシ小野村其他ニ於テ所定ノ鋪裝ヲ施シ面積九千六百五十一平方米ヲ竣功セシメ尙倉賀野町地内延長一千百七十五米八ノ道路兩側各幅一米八ニ砂利敷ヲ施シ輾壓ヲ加ヘ面積四千二百九十二平方米ヲ竣功セリ
 大鼓橋ハ前年度末ニ於テ一部コンクリート作業未了ナリシガ前記諸工事ト共ニ竣功セリ
 終點寄百八十米ハ路床ノ進捗ヲ俟テ街渠及側溝等排水設備ヲ完了次デ車道ニ所定ノ二層式鋪裝ヲ施シ面積一千四百米ヲ竣功セシメ尙歩道幅一米九ニ並砂利敷均シノ上輾壓ヲ施シ面積六百七十五平方米ヲ竣功シ跡片付其他十月三十一日ニ至リ全部之ヲ完成セリ
 本年度使用セシ勞働者延人員ハ七千二百五十一人ニシテ前年度使用人員ヲ合セ四萬七千二百五十六人トナレリ工事竣功表ハ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
道 路	米 100.00	100.000	米 107.14	118,570	米 207.14	218,570
橋 梁	米 1.00	100.000	米 1.00	100.000	米 2.00	200.000
工 事	米 1.00	100.000	米 1.00	100.000	米 2.00	200.000
雜 費	米 1.00	100.000	米 1.00	100.000	米 2.00	200.000
不 用 材 料 價 額	米 1.00	100.000	米 1.00	100.000	米 2.00	200.000
地 費	米 3.00	300.000	米 1.00	100.000	米 4.00	400.000
機 械 費	米 1.00	100.000	米 1.00	100.000	米 2.00	200.000
器 具 費	米 1.00	100.000	米 1.00	100.000	米 2.00	200.000
計						
竣功	1.00	100.000	1.00	100.000	2.00	200.000
歩 合	1.00	100.000	1.00	100.000	2.00	200.000

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	三、七九四 九七六	—	七、三三四 一九	—	一〇、〇二八 一、七一四	—
總計	—	一八、三六二	—	四六、三三三	—	三、九、九、九五 三、九、九、九五	一〇〇

第六一 國道九號線(群馬)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費豫算十八萬圓ヲ以テ群馬縣群馬郡佐野村大字和田多中ヨリ高崎市八島町ニ至ル延長一千三百三米ヲ施行シ併セテ縣ニ於テ砂利敷ヲ爲シタル同市赤坂村(八島町界)ヨリ同市大字飯塚ニ至ル延長六百九十米ノ車道鋪裝ヲ施行スルモノトス

計畫大要

改良區間ノ現道ハ舊中山道ノ一部ニ屬シ起點佐野村ノ一部及之ニ接續スル高崎市街地ハ其大部分砂利敷又ハ簡易鋪裝道ニシテ有効幅員七米ニ滿タズ然モ高崎銀座ト稱セラルル新町、本町間約一公里ノ商業地帯ハ自動車ノ集散頻繁ナルノミナラズ其區間ニハ東武鐵道會社電車軌道ヲ有シ市街南端ニ於テハ上信電鐵、同北端ニハ信越及上越等各省線トノ平面交叉ヲ控ヘ物資運輸ハ勿論一般交通上ノ危險甚ダ大ナルモノ在リ之ガ改良ハ眞ニ焦眉ノ急ナリトス

本計畫ニ於テハ起點ヨリ約百米ニシテ現道ヲ避ケ右折シテ省線高崎線ヲ跨線橋ニ依リ横斷次デ東三條通右側ヲ擴張シ殆ド直線ヲ以テ終點ニ達セシメ以下縣道ニ依リ芝塚ヲ經テ現國道ニ聯絡スル路線ヲ決定セリ

道路ハ歩車道ヲ高低區別スル街路構造トシ有効幅員十一米乃至十三米ニシテ中央七米乃至八米ヲ車道

ニ宛テ其兩側二米乃至二米五ヲ歩道トス車道ハ横斷勾配四十分ノ一拋物線形ニシテ二層式基層厚十二
 糎配合一、三、六砂利コンクリート、表層厚四糎配合一、二、四碎石コンクリート（鋪裝ヲ施シ歩道ハ横斷勾配五
 十分ノ一ヲ附シ砂利敷トス縱斷勾配ハ最急三十分ノ一、其延長三百三十六米、最緩ハ水平ニシテ其延長七
 十七米ナリ

排水設備ハ歩車道境界ニ街渠ヲ設ケ二十五米乃至四十米毎ニ同柵ヲ設置シ之ニ聚集スル汚水ハ排水支
 管ニ依リ道路端ニ設クル側溝ニ導キ更ニ暗渠又ハ最寄水路ニ排疏セシム暗渠ハ在來水路ノ遮斷セラル
 ル箇所ニ鐵筋コンクリート函渠又ハ同コンクリート管ヲ設置セントス

橋梁ハ高崎線ト立體交叉ノ爲メ架設スル跨線橋一箇所ニシテ橋長十四米、幅員十一米ノ鋼鈹桁ニ依ル單
 桁式上路橋トシ橋臺ハ何レモ生松丸太杭基礎ヲ用ヒタル鐵筋コンクリートニシテ各其目的ニ應ジ南側
 ハ扶壁式、北側ハ框構型ヲ採用シ橋床ハ鐵筋コンクリート構造トシ歩車道ヲ區別スル碎石コンクリート
 鋪裝ヲ施行セントス

施工狀況

施工ニ關シテハ下和田町ニ事務所ヲ設ケ先ヅ用地買收並障害物移轉等ノ協議開始ト共ニ測量及實施設
 計其他諸調査ヲ行ヒ其進捗ニ伴ヒ七月二十一日土工工事ニ着手セリ

盛土總數量ハ三萬一千二百四十立方米ニシテ内二千六百立方米ハ切取土ヲ利用シ不足土ハ概ネ烏川高
 水敷ヨリ採取貨物自動車ニ依リ搬入シ約八分通竣功セリ内盛土最モ高キ跨線橋前後取付箇所ハ法止ニ
 擁壁ヲ築造其堅固ヲ期シ間知石積ニ依リ面積一千七十三平方米ヲ施行之ヲ完了セリ

費目	本工事費							總計
	道路	橋	雜	用	器	雜	共濟	
數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量
前年度迄竣工高								
本年度竣工高				三段				
合計				三段				
未竣工								
未竣工								
合計								
步竣								
合功								

第六二 國道十號線(群馬)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ工費豫算六萬圓ヲ以テ群馬縣碓氷郡臼井町地内延長一千八百米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

本國道ハ高崎市ニ於テ九號國道ト分歧シ碓氷峠ヲ越エ長野縣北佐久郡西長倉村追分ニ至リ岐阜市方面ニ通ズル十四號國道ト結び上田長野兩市ヲ經テ新潟縣ニ入り更ニ山形縣ヲ過ギ秋田市ニ達スル路線ニシテ本州中央主要部ヲ横斷シ裏日本トノ交通聯絡及産業上頗ル樞要ナリ

改良區間ハ舊中山道ノ一部ニ屬シ北ハ丘陵ニ接シ南ハ省線信越線ニ沿ヘル狹長ナル砂利道ニシテ有効幅員漸ク四米五ニ滿タザル箇所ヲ存シ而モ起終點附近ニハ鐵道踏切各一箇所ヲ有シ加之昭和七年度ニ於ケル坂本町ヨリ碓氷峠ニ至ル國道改良工事施行ノ結果自動車ノ往來頓ニ増加シ一搬交通上頗ル危険ナリトス

改良計畫ニ於テハ地形上幅員ノ擴張困難ナルノミナラズ土地買收並障害物移轉等ニ巨費ヲ要スルヲ以テ起點ヨリ踏切ニ至ル約百三十米ノ區間ハ現道ヲ擴築シ以下終點ニ至ル間ハ現道ヲ避ケ鐵道線路ノ南側ヲ迂曲シ臼井町西部踏切地先ニ至リ再ビ現道ト聯絡スル新路線ヲ決定セリ其延長二千百三十二米五

ノ内本事業ニ於テハ一千八百米ヲ施行セントス有効幅員ハ七米五ニシテ歩車道ヲ區別セズ凡テ水締砂利道トス横斷勾配ハ二十分ノ一拋物線形トシ縱斷勾配ハ最急二十五分ノ一、延長二百六十米、最緩二百分ノ一ニシテ最小屈曲半徑二百米ナリ

排水設備ハ切取箇所ニ側溝ヲ設ケ用惡水路横斷箇所ハ斷面ニ應ジ側石積床版鐵筋コンクリート暗渠又ハ鐵筋コンクリート管ヲ設置ス

橋梁ハ溪流矢ノ澤ニ架設スル横川橋一箇所ニシテ橋長十米、有効幅員七米五、斜交角五十六度三十分、橋體ハ鐵筋コンクリート丁型桁、床版ハ鐵筋コンクリートニシテ碎石コンクリート鋪裝トス

施工狀況

本工事ハ極メテ急ヲ要スルモ用地買收障害物移轉等ニ關シ種々ノ支障ヲ生ジ協議容易ニ進捗セズ十二月ニ入り實施設計測量其他諸調査ヲ行ヒ十年一月中旬漸ク土工工事ニ着手スルヲ得タリ盛土數量ハ一萬六千五百七十立方米ヲ要シ内一萬二千九百立方米ハ切取土ニシテ距離ノ遠近ニ依リ輕便軌條使用人カトロ運搬又ハ畚運搬トシ其他ハ碓氷川適當ノ箇所ニテ採集自動車運搬ニ依リ年度内切取一萬三百六十五立方米ノ内六千九百五十三立方米ヲ所要箇所へ搬入セリ而シテ切取及盛土ノ法、長、高ト其輕重ニ應ジ甲、乙二種ノ擁壁ヲ築設セリ甲ハ玉石練積延長一千八百六十五米、乙ハ同空積延長一千五百五十三米ニシテ工程六分通ニ達セシガ其餘ハ翌年度へ繰越トナレリ

排水設備ハ土工ノ進捗ニ伴ヒ側溝及暗渠ヲ施行セリ内側溝ハ兩側延長二千八百八十五米ノ内一部ハL字型コンクリート溝トシ其他ハ空石積頂層コンクリートニシテ二月一日着手年度内竣功ヲ告ゲ暗渠ハ徑

間一米、延長十三米及二十五米ノコンクリート石積函渠二箇所並内徑六十糎延長十三米乃至二十五米ノ鐵筋コンクリート管渠五箇所、其他十四箇所ヲ施行シ何レモ年度内竣功セリ

橋梁(横川橋)ハ三月十六日起工シ橋臺基礎工事ニ着手シタルノミニシテ年度ヲ經過セリ

本事業ハ其目的トスルトコロ失業者救済ニ在ルヲ以テ機械ノ使用ヲ避ケ可及的的人力施行ノ方針ニ基キ就勞者ハ附近ノ七箇町村民ノ内要救済失業者ヲ使用セリ其延人員二萬四百人ニシテ既ニ豫定人員ニ達セシガ工事竣功迄ニハ尙多數ノ人員ヲ使用スルニ至ルベシ

本年度竣功高ハ三萬一千四百七十七圓ニシテ之ヲ工費豫算六萬圓ニ比較スルトキハ五割二分ノ竣功ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道				1,510,180円		1,510,180円	0.00%
橋			一箇所	1,211		1,211	0.00%
工事			未竣功	4,910		4,910	0.00%
費用			三段	6,697		6,697	0.00%
用地				0		0	
器械				0		0	
器具				0		0	
雜費				0		0	
共濟組合給與金				1,184		1,184	
總計				6,702,113		6,702,113	0.00%

第六三 國道十號線(更級)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ工費十三萬圓ヲ以テ國道十號線ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ其區域ハ長野縣埴科郡杭瀬下村大字杭瀬下ヨリ更級郡篠ノ井町ヲ經テ中津村ニ至ル延長三千七百三十一米五十糎ノ間ニシテ長野縣ハ先年千曲川ニ架設セル篠ノ井橋及其前後ニ於ケル道路總延長二千七百餘米ノ改築ヲ行ヒタリ而シテ本年度國施行ハ其前後埴科郡杭瀬下村大字杭瀬下ヨリ同郡屋代町大字屋代ニ至ル一千七百十三米及更級郡篠ノ井町ヨリ同郡中津村ニ至ル延長二千十八米五十糎ナリ

計畫大要

長野市ト上田市トヲ結ブ國道十號線中更級郡中津村ヨリ長野市中央道路ニ達スル延長九紵餘ハ國及長野縣ニ於テ現代交通ノ要求ニ適應スル改築ヲ施行シタリ然ルニ是ヨリ以南ノ舊道ハ先年長野縣ニ於テ千曲川ニ架設セル篠ノ井橋及其前後取付道路約二千三百米ヲ改築セルノミニテ其他ハ幅員狹隘且急曲相反向シ車輛ノ交通能率ヲ激減スルノミナラズ車馬自動車ノ交通事故頻出スルノ状態ナリ
昭和九年度ハ農村其他應急土木事業トシテ埴科郡杭瀬下村大字杭瀬下地籍府縣道稻荷山屋代停車場線ヲ起點トシ之ト直角ニ直線ヲ以テ北進シ半徑四百米ノ曲線ヲ以テ右折シ直線ニテ巽ニ改築セル道路ニ

接續スル延長一千七百十三米及更級郡篠ノ井町地籍前記縣施行ノ改築終點見六橋ヲ起點ト爲シ之ヨリ眞直ニ延長シ半徑一公里ノ曲線ヲ以テ左折シ更ニ半徑二公里ノ曲線ヲ以テ右折シテ舊道ノ東約二三百米ヲ距テテ略之ニ並行シテ篠ノ井町ヲ經過シ同郡中津村ニ於テ本年度時局匡救事業トシテ施行中ノ川中島道路ノ起點ニ直線ニテ連續スル延長二千十八米五十糎ノ新線ヲ撰ビ可及的支障物ト曲線トヲ避ケ工費ノ輕減ト交通ノ安全トヲ期セリ

新設ノ道路ハ有効幅員七米五十糎トシ其兩端ニハ各五十糎ノ路肩部ヲ設ケタル歩車道ノ區別ナキ砂利敷土砂道トス

縱斷勾配ハ最急一パーセント其延長百四十米、最小縱斷勾配零パーセント二橫斷勾配ハ四パーセントノ拋物線型トス

道路ノ經過地ハ概ネ田畑ニシテ盛土ヲ施ス部分多ク切取箇所ハ同區間ヲ通ジ約二百米ナリ而シテ盛土直高九十糎以上及水路ニ接スル箇所ニハ練石積擁壁ヲ築造シ其天端ニハ厚四糎幅二十糎ノ笠置混凝土ヲ施行シ其他ハ凡テ混凝土ノ土留擁壁ヲ設ケ排水設備トシテハ切取箇所ノ兩側及宅地沿線ニハ混凝土側溝ヲ設ケ用水路ヲ橫斷スル箇所並水田ヲ兩分スル箇所ニハ床版橋又ハ鐵筋混凝土管ノ水抜ヲ設置シテ灌溉ノ用ニ供セリ

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月長野市ニ設置シタル長野國道改良事務所ニ於テ實施設計測量其他諸般ノ調査ヲ行ヒ埴科郡屋代町ニ屋代工場ヲ設ケ其下ニ篠ノ井見張所ヲ設置シテ直接施行ノ任ニ當ラシ

メタリ

本工事施行ハ昭和九年十二月第六十六議會ノ協賛ヲ經テ決定セルモノニシテ測量設計其他ノ調査ニ銳意努力シ同年十二月二十五日ヨリ千曲川筋ニ於テ砂、砂利等ノ採取並鐵筋混凝土管ノ製作等ヲ開始シタリ用地買收物件移轉ニ關シテハ短期間中ニ工事ヲ急速ニ進行セシムルノ必要上杭瀬下村及屋代町地籍ノ關係者ヨリハ起工承諾ヲ求メ工事ノ促進ヲ計リ而シテ篠ノ井町地籍ハ十二月二十四日屋代町並杭瀬下村地籍ハ十二月二十九日何レモ各關係者ニ用地買收物件移轉ノ價額ヲ發表承諾ヲ求メタリ而シテ其買收面積ハ宅地八百四十五坪四勺、代金五千九百九十九圓六十一錢、田畑三町六畝十八步、代金二萬八百五十二圓五錢、建物其他ノ物件移轉料一萬二千八百三十一圓三十六錢六厘、作毛補償料四百三十六圓二十四錢、合計四萬百十九圓二十六錢六厘ノ内宅地百三十八坪五合一勺、代金一千百三十一圓十七錢、田畑一段六畝五步、此價額一千七十三圓七十五錢、合計二千二百四圓九十二錢ハ登記手續未了等ノ爲メ翌年度ニ繰越シタル外本年度ニ之ガ支拂ヲ完了シタリ

溝工ハ路床工事ニ先立チテ着手シ合計百九箇所ノ内床版橋十六箇所、管渠九十三箇所ノ全部ヲ竣功セシメタリ

路床用土砂ハ切取土及床掘土利用ノ外凡テ千曲川々敷ヨリ自動車ヲ利用シ豫定土量一萬八千立方米ノ内一萬七千餘立方米ヲ竣功セシメタリ

擁壁工ハ練石積及混凝土ニテ築造之ニ依リ官民有地ノ境界ヲ明ニ爲スト共ニ耕作ニ依ル法尻ノ崩壞ヲ防止シタリ而シテ年度内ニ五千四百五十平方米ヲ施行シテ全部ヲ完了シタリ

測溝ハ切取箇所並宅地沿線ニ於テ混凝土緣石ニ接シ混凝土側溝延長七百四十四米ヲ設ケ竣功シタリ

雜工事トシテ道路ト交叉スル箇所三十九箇所ニハ二十分ノ一内外ノ勾配或ハ階段ノ取付道路ヲ施行シ
 水路付替四箇所ヲ行ヒ何レモ年度内ニ竣功セリ
 路面工路床ハ人力搗キ固メヲ主トシ一部ハ十噸半輾壓機ヲ使用シテ輾壓ヲ施行セシモ其大部分ハ次年
 度ニ繰越シタリ

本工事ハ本年度限りノ事業ナレドモ短期間ト且降雪嚴寒中ノ爲メ工事ノ進捗意ノ如クナラズ本年度ハ
 全工程ノ九割ヲ竣功セシメ其他ハ翌年度ニ繰越スノ止ムナキニ至レリ
 而シテ本年度ニ使役シタル勞働者ノ延人員三萬九千七百一人、勞力費四萬五千七百九十三圓九十六錢ニ
 シテ其竣功額ハ十一萬四千八百七十五圓ナリ是ヲ總工費十三萬圓ニ比スレバ約八割八分ノ竣功トス其
 工事竣功表次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數	金額	數	金額	數	金額
本工事費一道路				六八、七〇〇円		六八、七〇〇円
土地買收費			七坪	二四、六四七	七坪	二四、六四七
物件移轉其他補償費			八坪	二四、六四七	八坪	二四、六四七
器具機械費			五坪	一三、〇〇〇	五坪	一三、〇〇〇
營繕費				一、〇〇〇		一、〇〇〇
共濟組合給與金				七六		七六
						〇割八分

第六章 國道改良工事（國道十號線（更級）改良工事）

總計	雜費
—	—
—	—
—	—
—	—
11,174,200	3,400,000
—	—
11,174,200	3,400,000
000	—

第六四 國道十一號線(長野)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ國道十號線長野市大字中御所ヨリ同大字南長野ニ至ル延長一千三百四十米十糶ニ互リ工費二十五萬圓ヲ以テ鋪裝工事及道路新設工事ヲ施行シ又國道十一號線長野縣上水内郡古間村大字古間ヨリ同郡柏原村大字役屋敷ニ至ル間道路改築二千三百五十二米九十五糶橋梁新設工事一箇所其延長三十四米四十糶ヲ工費十萬圓ヲ以テ施行中ノ處昭和九年二月更ニ道路延長六百三十五米ヲ追加施行スルコトトナリ工費ヲ十二萬八千圓ニ更正シ改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

一、國道十號線

長野市ト上田市トヲ結ブ國道十號線中長野市内ノ路線ハ幅員僅ニ四米ニ達セザルノミナラズ信越線長野驛構内ニ於テ平面交叉ヲ爲シ路面モ亦砂利敷ニ依リ辛フジテ體裁ヲ維持スルノ状態ニテ到底現代ノ要求ニ應ズルコト能ハザル状態ナリ

長野縣ハ先年長野市都市計畫法ニ基キ設定セル街路網ノ内國道ニ該當スル路線ニ依リ本改良計畫ヲ樹立シ其儘國ニ引繼ギ政府ハ昭和六、七兩年度ニ於テ失業並産業開發事業トシテ延長九百八十六米二十糶幅員二十二米ヲ車歩道ニ區分シ歩道三米七十糶、車道十四米六十糶、路面ハ車道及歩道ノ一部ハ砂利敷ト

爲シ歩道ノ他ノ一部ニハ混凝土塊ヲ以テ鋪裝スルノ改良工事ヲ實施シ又長野縣ハ昭和六、七年度國庫ノ補助ヲ仰ギ犀川ノ丹波島木橋ヲ車歩道ニ區別シタルゲルバー式組桁橋延長五百四十米ニ改築ヲ行ヒ之ニ接續シ長野市側ハ都市計畫路線中ノ國道該當線延長一千三百五十餘米ノ新設工事ヲモ施行セリ昭和八年度ハ時局匡救事業トシテ前記國及縣施行ノ中間區間延長二百七十五米八十三糎、幅員十八米八十糎、有効幅員十八米、内車道十一米、歩道各三米五十糎ノ新設ヲ爲スモノナリ而シテ省線信越線ト立體交叉ヲ爲スベキ跨線橋ト其前後延長三十三米二十四糎ハ鐵道省ガ自己負擔ヲ以テ之ヲ施行セリ縱斷勾配ハ跨線橋ノ前後三、九五%及三、八%トシ兩側ニ鐵筋混凝土擁壁ヲ設ケ高欄ヲ備ヘ又橫斷勾配ハ車道三%ノ拋物線勾配ト爲シ歩道ハ約一、八%ノ片勾配ト爲シタリ

路面ノ構造ハ何レモ砂利敷ト爲シ歩道ニハ中心距離五米毎ニ植樹帶ヲ設ケ路面ノ排水ニハ車道兩端ニ設ケタル街渠ニ依リ距離約十米毎ニ造リタル集水榭ニ流シ街渠直下ニ埋設シタル鐵筋混凝土管ヲ通ジテ排除スルモノナリ此區域隣接地ハ國道及都市計畫街路網ヲ基準トシテ區劃整理ヲ施行シタルヲ以テ主要街路ヲ聯絡スル爲メ國道直下ニ三箇所ノ鐵筋混凝土造リノ地下道ヲ設ケ又國道ト聯絡ノ爲メ跨線橋ニ接シテ階段ヲ設ケタリ

尙昭和六、七兩年度ニ施行シタル延長九百八十六米二十糎ノ區間歩道ノ一部ヲ除クノ外何レモ砂利敷路面ナルヲ以テ之ガ鋪裝ヲ爲スモノナリ工法ハ車道ハ二層式混凝土鋪裝、歩道ハ二層式混凝土塊敷トス其他昭和八年度當所ニ於テ改良豫定計畫路線ノ一部ノ實施ヲ保留中ノ處昭和八年十一月九日付土木局ノ指令ニ依リ長野市都市計畫路線二等二類一號線ノ一部即チ前記鋪裝工事ノ終點ヨリ右折シテ大正町ニ延長八十米八十四糎ヲ施行スルコトトナリ其幅員二十五米、内車道十六米四十糎、歩道各四米三十糎ナリ

縱斷勾配ハ一二%トシ兩側ニハ混凝土造リノ土留擁壁ヲ設ケ之ニ依リ道路ノ境界ト爲ス
横斷勾配ハ車道二五%ノ双曲線勾配トシ歩道ハ一八%ノ片勾配ト爲シタリ

路面ノ構造ハ車道ハ混凝土基礎上ニ乳劑ノ被覆鋪裝トシ歩道ハ二層式混凝土塊ヲ以テ敷キ並ベ中心距離約五米毎ニ混凝土製植樹根圍ヲ設ケタリ路面ノ排水ニハ車道ノ兩端ニ設ケタル街渠ニ依リ十米毎ニ設置セル集水樹ニ流シ街渠直下ニ埋設シタル鐵筋混凝土管ヲ通ジテ排除スルモノナリ

一、國道十一號線

信越國境ニ近ク長野縣上水内郡地内ニ於テ昭和七年度産業開發及農村振興事業トシテ政府直營ノ國道改良工事延長八軒餘ヲ施行シ有名ナル小玉坂ヲ中心トセル難所ヲ除キテ時代ノ要求ニ適合スル道路ノ改築ヲ行ヘリ然レドモ之ニ引續キ古間村、柏原村地内ニ於テ尙小古間坂、新田坂、柏原坂ノ急坂アリ且古間村ニ於テハ信越線ノ踏切アリ殊ニ柏原村ノ如キ二十%ニ近キ急勾配ト急曲相反向シ車輛ノ交通能率ヲ激減スルノミナラズ轆馬ノ傷害自動車ノ事故頻出スル状態ナリ

昭和八年度ハ時局匡救事業トシテ前年度ノ改修區域終點小古間坂ノ頂上ヨリ緩傾斜ノ山腹ヲ右ニ彎曲シテ走り更ニ左ニ彎曲シ大古間部落ニ於テ現國道ニ合ス此部落ハ人家連擔セル商業地ナルヲ以テ可及的現道ヲ利用シテ之ヲ整備シ信越線踏切附近ニテ左折更ニ右ニ彎曲シテ信越線及鳥井川ヲ横斷シ柏原村ニ入り現國道ニ接續スル延長二千三百八十七米三十五糎ヲ工費十萬圓ヲ以テ改良工事ヲ施行中ノ處昭和九年二月二十日附土木局ノ指令ニ依リ前記改良工事終點ヨリ柏原部落中延長六百三十五米ヲ追加施行スルコトトナリ工費二萬八千圓ヲ増額總工費十二萬八千圓ニ更正シタリ
改築ノ道路ハ有効幅員六米トシ其兩端ニハ五十糎ノ路肩部ヲ設ケ大古間及柏原兩部落ノ人家連擔セル

區間ハ全幅員八米五〇乃至十四米トセル砂利敷トス

縱斷勾配ハ最急六・五%其延長百五十米、最小半徑七十米、橫斷勾配四%ニシテ排水設備トシテ切取箇所ハ
 混凝土縁石ヲ有スル空掘リ溝ヲ宅地沿線ノ兩側ニハ練石積側溝ヲ設ケ路面ノ排水並用惡水路ニ兼ネ備
 ヘ又道路ヲ橫斷シテ鐵筋混凝土管或ハ溝橋ヲ設ケ灌溉ノ用ニ供シタリ

橋梁ハ信越線及鳥井川ヲ一徑間ニテ橫斷スルモノニシテ徑間三十二米九十釐、有効幅員六米ボーストリ
 ング型（セミボニー）鋼構橋トス路面ハ鐵筋混凝土床版ニ一・一五、三配合ノ碎石混凝土ヲ以テ鋪裝スルモノ
 ナリ

施工狀況

一、國道十號線

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月十五日開設ノ長野國道改良事務所ニ於テ實施設計、測量、其他諸般ノ調
 査ヲ行ヒ施行區域ニ長野工場ヲ設置シテ直接施行ノ任ニ當ラシメタリ

延長九百八十六米二十釐ノ區間ノ鋪裝工事ハ前年度中ニ竣功ヲ告ゲタルモ前年度ハ例年ニ比シ降雪意
 外ニ早ク然カモ積雪多量ト寒氣ノ酷烈ナルコトハ近年稀ニ見ル所ニシテ跨線橋附近工事ハ著シク工事
 ノ進捗ヲ阻害セラレ且改修路線ノ一部即チ大正町通り工事決定遅延ノ結果用地買收並物件移轉手續未
 了ノ爲メ前年度中ニ工事ノ完成ヲ見ズ其十五%ヲ本年度ニ繰越施行シタリ
 跨線橋前後ノ道路工事ノ用地買收等ハ前年度ニ於テ支拂ヲ完了シ本工事ノ内盛土、側溝等ハ前年中ニ略
 竣功シタリ

本年度ニ入りテハ擁壁、高欄、階段及路面工等ノ殘工事ヲ施行シ七月二十一日完成セリ

大正町道路新設工事ハ前記ノ如ク路線ノ決定ヲ見タルハ昭和八年十一月九日ニシテ直チニ用地買收、物件移轉ノ調査ニ着手其價額ヲ關係者ニ發表シタルモ積雪ト嚴寒中ノ事トテ其進捗意ノ如クナラズ土地四百四十五坪二合八勺此代金一萬三千三百五十八圓四十錢、物件移轉費三千五百六圓七十五錢八厘ヲ本年度ニ繰越支拂ヲ完了セリ

本工事ハ前記理由ニ依リ著シク工事ノ進捗ヲ阻害セラレ前年度中ニハ各種設計内直營採取及側溝用鐵筋、混凝土管、街渠方塊、歩道混凝土塊ヲ製作シ盛土量ノ僅少ヲ施行セシノミニテ其他ハ全部本年度ニ繰越シタリ

本年度ニ入りテハ家屋ノ移轉箇所ヨリ順次擁壁工、盛土、側溝、路面鋪裝工事等ヲ進メ昭和十年三月植樹ヲ完了スルト共ニ材料ノ整理及其他ノ跡片付ケヲ行ヒ昭和十年三月三十一日完ク本工事ヲ竣功セリ而シテ本年度ニ於ケル使役勞働者延人員六千三百三十七人、勞力費六千七百七十八圓七錢ナリ

一、 國道十一號線

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月十五日長野市ニ設置シタル長野國道改良事務所ニ於テ測量、設計其他諸般ノ調査ニ着手シ昭和八年五月一日施行區域ニ古間工場ヲ開設シ五月八日ヨリ工事ニ着手、銳意其進捗ニ努力セシモ前年度ハ例年ニ比シ降雪意外ニ早ク且積雪多量ト寒氣ノ酷烈ナルユトハ近年稀ニ見ル所ニシテ十二月中旬既ニ積雪八十糎以上ニ達シ之ガ根雪トナリ以來工事ハ殆ド中止ノ餘儀ナキニ至リ前年度中ニ最初ノ豫定線ノ八割五分ヲ竣功セシメ殘部ハ本年度ニ繰越シタリ而シテ昭和九年二月下旬決定ノ追加工事ノ延長六百三十五米ノ區間ハ當時積雪二米餘ニ及ベルヲ以テ測量及調査ハ全ク不可能

ナリシ爲メ本年度ニ入り測量調査ノ後昭和九年七月六日用地買收及物件移轉等ノ價額ヲ發表シタリ而シテ其用地ハ宅地二百六十九坪二合七勺、畑十一坪、此代金二千三百二十圓九十一錢、家屋其他雜物件移轉料六千百十圓七十二錢五厘ニシテ又前年度ニ於テ買收發表土地中三百十四坪六合八勺、此代金七百五十九圓三十四錢四厘ハ登記手續未了ノ爲メ本年度ニ繰越シ何レモ之レガ支拂ヲ完了セリ

道路工事ハ本年度ニ入りテハ橋梁前後ノ盛土工、石積擁壁、路面工等ノ殘工事ヲ又ハ橋梁工事ハ高欄ノ殘工事ヲ施行シ昭和九年八月最初ノ豫定線延長二千三百八十七米三十五糎ヲ完成セシメ追加工事ハ昭和九年六月中旬本工事ニ着手セリ此區域ハ人家連檐セルヲ以テ家屋其他ノ物件移轉ニ至ル間ハ間知石等ノ直營採取ヲ施行シ續イテ切取、盛土、側溝、擁壁、官民地境界、標設置等順次工事ヲ進メ昭和九年十二月上旬道路工事ハ竣功シタリ

爾來專ラ跡片付及殘務整理ヲ爲シ昭和十年三月三十一日全ク是等整備ヲ完了セリ

本年度ニ於ケル使役勞働者延數一萬四千二百六十三人、勞力費一萬三千五百五十八圓七十六錢ナリ

以上國道十號線及十一號線ノ兩工事竣功額三十七萬八千圓ニシテ其工事竣功表次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工十號線道路	六三米	一、〇八一〇圓	三七米	一、一七〇圓	一、〇〇〇米	二、二四〇圓	一〇〇
工事十一號線道路	一、一〇〇	三、〇〇〇	一、六八四	一、六七一	二、八〇〇	四、六七一	一〇〇
費同 橋梁	—	—	—	—	橋梁	—	—
土地買費	五九〇坪四段 三三〇坪	一〇、七〇〇	四四〇坪 三三〇坪一段	一、三三九	九三〇坪 三三〇坪一段	一、三三九	一〇〇
收地費	十一號線	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—

總計	雜費	共濟組合給與金	營繕費	器具機械費	他補償費	物件移轉其十一號線
1,000	—	—	—	—	—	—
3,527,000	3,527,000	—	—	—	—	—
6,864,000	6,864,000	—	—	—	—	—
3,527,000	3,527,000	—	—	—	—	—
1,000	—	—	—	—	—	—

第六五 國道十號線(長野)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費二十萬圓ヲ以テ施行中ノ處中途一萬圓ヲ減額シ十九萬圓ノ工費ヲ以テ施行セントスルモノニシテ其區域ハ長野縣更級郡中津村ヲ起點トシ同郡青木島村大字青木島犀川丹波島橋詰ニ至ル延長五千五百五十六米間ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

長野市ト上田市トヲ結ブ國道十號線中長野市ノ玄關口タル丹波島橋ハ改築サレ之ニ接續シ長野市側道路モ亦都市計畫路線中國道該當線ノ改修ヲ告ゲ茲ニ現代交通ノ要求ニ適應スルコトヲ得タリ然ルニ丹波島橋ヨリ以南舊國道ハ幅員僅カニ四米内外ニシテ往時ノ北國街道ニ何等ノ改善ヲ加ヘズ屈曲相反向シ車輛ノ交通能率ヲ激減スルノミナラズ輓馬ノ傷害自動車ノ事故頻出スルノ状態ナリ而シテ舊道ハ人家連檐シ屈曲甚シキヲ以テ之ヲ廢シ丹波島橋ヨリ眞直南ニ延ビ半徑四百米ニテ右折シテ青木島村ノ中央ヲ走り稻里村ニ入り半徑五百米ヲ以テ左折シテ舊道ノ東方約二三百米ヲ距テテ並行シテ御廚村ヲ經過シ中津村ニ於テ更ニ半徑二千米ノ曲線ヲ以テ右折シ篠ノ井町界ニ達スル可及的支障物ト曲線トヲ避ケタル新線ヲ撰定シテ工費ノ節約ト交通ノ安全トヲ期セリ

本路線ノ經過地ハ大部分田畑ニシテ全區間盛土ヲ爲シタル歩車道ノ區別ナキ砂利敷道ニシテ其有効幅

員七米五十糎ノ兩端ニ各五十糎ノ路肩ヲ有セシメタリ
 道路ノ兩側ニハ石積擁壁、混凝土擁壁又ハ法尻混凝土土羽仕上等適宜施行シ以テ官民有地境界ヲ明ニス
 ルト共ニ耕作ニ依ル法尻ノ崩壞ヲ防止シタリ又用水路ヲ横斷スル箇所及ビ水田ヲ兩分スル所ニハ鐵筋
 混凝土渠或ハ鐵筋混凝土管ノ水拔ヲ設置シタリ縱斷勾配ハ最急三%其延長百三十九米、最少縱斷勾配ヲ
 零・二%ト爲シ横斷勾配ハ四%トセリ

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月長野市ニ設置シタル長野國道改良事務所ニ於テ設計、用地買收其一般
 調査ヲ行ヒ工事施行區域ニハ川中島工場ノ許ニ一見張所ヲ設ケ昭和九年五月二日工事ニ着手シタリ
 工場ヲ開設スルト共ニ用地ニ關係ナキ砂利及砂等ノ採取竝鐵筋混凝土管製作工事ニ着手シタリ又一方
 用地買收及物件移轉ノ調査ニ銳意努力シ昭和九年五月十一日用地買收等ノ價額ヲ關係者ニ發表承諾ヲ
 求メタリ而シテ其用地ハ宅地三百九十四坪四合四勺ノ代金二千二百六十圓四十九錢五厘、田畑五町一段
 九畝四步ノ代金二萬九千八百四十八圓七十錢、建物其他物件移轉料八千三百七十三圓六十錢一厘ニシテ
 何レモ年度内ニ支拂ヲ完了セリ

路床用土砂ハ全部犀川々敷ヨリ運搬スル計畫ヲ樹テ右岸寄りニ假締切工ヲ設置シ假橋ヲ架設シテ近距
 離ハ零立方米六、土運車ニテ人力運搬ヲ行ヒ又遠距離ハ自動車運搬ニ依レリ
 擁壁工ハ宅地附近ノ高キ區域ニハ三分勾配ノ練石積ヲ造リ其一部路肩ニ駒止ヲ設ケ直高九十糎以下ノ
 所ニハ混凝土擁壁ヲ其他ノ箇所ハ法尻ニ高三十糎ノ混凝土擁壁ヲ設ケ其上ニ一割五分ノ土羽付仕上工

ヲ施シタリ

溝工中三十六箇所ハ函渠ヲ百七十九箇所ニハ直營製作シタル鐵筋混凝土管ヲ埋設セリ而シテ宅地沿線ノ一部石積擁壁ノ法先ニ混凝土側溝ヲ設ケタリ

路面工ハ十廔半及六廔ノ輾壓機ヲ用ヒ徑三十耗徑十五耗砂利ノ二層式仕上ゲヲ行ヒタリ

雜工事トシテハ水路付替九箇所取付道路十八箇所ヲ施行シ境界標設置ヲ完了スルト共ニ器械類ノ整理及跡片付ケヲ行ヒ昭和十年三月三十一日完ク本工事ノ竣功ヲ告ゲタリ而シテ本年度ニ於ケル使役勞働者延人員七萬三千二百八十二人勞力費八萬五千二百七十一圓九十三錢ニシテ總工費ノ約四割五分ニ當

リ竣功額十九萬圓ナリ其工事竣功表次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計		竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費									1.00
道路									1.00
土地買收費									1.00
物件移轉其他補償費									1.00
器具機械費									1.00
共濟組合給與金									1.00
雜費									1.00
營繕費									1.00
總計				1407000		1407000		1407000	1.00

第六六 國道十號線(中之島)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ時局匡救事業トシテ工費豫算二十萬圓ヲ以テ國道十號線新潟縣古志郡黒條村大字高見ヨリ同縣南蒲原郡中之島村大字中之島ニ至ル延長四千七百八十四米一一ノ路線ニ改良工事ヲ施スモノニシテ昭和八年度中ニ竣功セシムル豫定ナリシモ天候其他ノ事情ノ爲メ漸ク約七割九分ヲ竣功シ其殘工事ヲ本年度ニ繰越施行スルコトトセリ

計畫大要

本國道ハ長岡市ト三條市トヲ結ブ唯一ノ幹線道路ニシテ昭和七年度起業産業開發道路ノ終點タル古志郡黒條村大字高見ヨリ工ヲ起シ大字十二潟ヲ經テ猿橋川ヲ渡リ南蒲原郡中之島村大字大口ヲ通過ス此間屈曲甚シク路面高低常ナラズ且幅員狹小ニシテ僅ニ三米六ニ過ギザル箇所アリ是ヨリ以北大字中之島ニ至ル間ハ幅員稍大トナリ屈曲モ亦幾分緩和セララルト雖モ終點地タル刈谷田川ニ架設ノ橋梁取付道路ハ勾配十二分ノ一ノ急ヲ極メ近時急激ニ發達セル自動車ノ通行其他一般交通運輸上支障尠ナカラザル状態ナリ

計畫中心線ノ決定ニハ交通改善ノ目的ノ爲メ全線ヲ通ジテ屈曲ヲ撓メ勾配ヲ緩和ニセムコトニ努メシハ勿論ナリト雖モ一面現在沿道主要部落ヲ通過セシムルト同時ニ可及的現在路線ニ接近セシムルコトヲ

畫リ且主要道路トノ聯絡ヲ圓滑ナラシメ併セテ工事費ノ低廉並維持修繕ヲ容易ナラシムルコトヲ考慮セリ即チ起點ヲ前述ノ古志郡黑條村大字高見ニ置キ幾何モナク右折シ古志郡ト南蒲原郡トノ境界猿橋川ヲ渡リ中之島村大字大口ヲ貫通シテ大字灰島ニ至リ左折シテ現在國道ニ一致セシメ大字中之島ニ入リ右折シテ刈谷田川舊堤防ノ一角ヲ過リ再ビ現在國道ニ合シ中之島村中樞タル人家稠密部ニ入り是レヲ擴築シツツ左右各二回ノ屈折ヲ經テ終點タル刈谷田川ニ至ルコトトセリ全線ヲ通ジテ線形ノ整備ト主要地點ノ通過トニ重點ヲ置キ新道路ハ有効幅員ヲ九米トシ其兩側ニ五十糎ノ路肩部ヲ設ケ路面構造ハ其橫斷勾配ヲ二十五分ノ一拋物線狀トシ路肩部ニ於テ五分ノ一勾配ヲ附セシメ平均厚十二糎ノ砂利ヲ敷均シ輾壓ヲ爲サシム而シテ築立部竝切取部トモ側法ヲ一割五分トシ筋芝ヲ附シ土羽打仕上トス終點附近坂路部ハ現狀ニ鑑ミ法勾配三分以下ノ石積工ヲ施ス計畫ナリ

路面ノ排水設備ハ宅地沿線ニU字型側溝ヲ設ケ或ハL字型側溝ヲ附シ下水管ヲ伏設シテ排水ニ備ヘシム地勢ハ殆ド平坦ニシテ本計畫縱斷モ亦起伏少シト雖モ終點附近ニ於テ刈谷田川堤防トノ取付ノ關係上三十分ノ一ノ昇リ延長百三十米ヲ最急縱斷勾配トシ平坦ナル部分ニ於テハ最小縱斷勾配四百分ノ一トシ尙最小屈曲半徑ハ百二十米ニシテ緩和切線ヲ挿入セリ橋梁ノ計畫ニ當リテハ航行無キヲ以テ治水灌溉ノ關係ヲ考慮シ其橋長及桁下高ヲ決定セリ橋梁ハ三箇所ニシテ構造ハ總テ道路法ノ規定ニ則リ之ヲ算定シ永久的の工法ニ依レリ

施工狀況

本年度施行セシ工事ハ道路ニ於テ十二瀉、灰島、大口、五百刈、中ノ島ノ五新設工事、橋梁ニ於テ第一號、第二號、

第三號ノ三橋梁新設工事及砂利、砂、玉石ノ各採取工事ニシテ何レモ前年度來ノ繼續工事ナリ昭和八年五月四日、以降南蒲原郡中之島村地内ニ開設セシ中之島國道改良事務所モ工事略竣功セシニ付昭和九年十月十五日限り是ヲ廢止シ殘務ハ信濃川上流改修事務所へ引繼ギ而シテ昭和十年三月二十八日全線之ヲ竣功セシメタリ今本年施行ニ係ル各工事ニ付述ブレバ左ノ如シ

道路工事 本工事ハ大部分前年度ニ於テ竣功シ本年度ニ在リテハ前年度未竣功ナリシ路面ノ砂利敷、壓土羽付等ヲ施行セシガ竣功ニ從ヒ交通量次第ニ増加シ加フルニ夏秋ノ候降雨連日ニ互リシ爲メ路面ノ砂利沈下シ三糎以下ノ砂利ヲ補足スルノ必要ヲ生ジ一部工事ノ増額ヲ爲シ昭和十年三月二十八日竣功セリ

橋梁工事 本工事ハ前年度ニ於テ基礎工事及橋臺ノ大部分ヲ竣功セシヲ以テ本年度ニ入りテハ上部構造ノ中鋪裝及足場、型枠ノ取除等ヲ施シ昭和九年八月三十一日全部ヲ竣功シタリ而シテ砂利、砂、玉石ノ採取工事ニ在リテハ昭和九年十一月二十一日全ク是ヲ竣功セシメタリ

尙用地買收及地上物件移轉等ハ殆ド前年度ニ於テ完了セシ爲メ本年度ニ入りテハ僅カニ用地買收一件物件移轉二件ヲ支拂セシノミニテ工事全部ヲ竣功セシメタリ

本年度ニ於ケル竣功額ハ四萬一千三百八十圓ニシテ前年度ヨリノ工事竣功額ヲ舉グレバ次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高			本年度竣功高			合計		
	數	量	金額	數	量	金額	數	量	金額
本道		二、八六〇米	一、〇〇〇圓		一、〇〇〇米	一、一〇〇圓		三、八六〇米	二、一〇〇圓
橋梁		一〇、〇〇〇米	一、〇〇〇圓		一、〇〇〇米	三、九七〇圓		一、〇〇〇米	一、〇〇〇圓
									一、〇〇〇圓

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
費一材料採取	—	114,410 円	—	114,410 円	—	114,410 円	—
土地買収費	—	103,300 円	—	50,000 円	—	153,300 円	—
物件移轉其他補償費	—	27,510 円	—	27,510 円	—	55,020 円	—
器具機械費	—	38,210 円	—	21,210 円	—	59,420 円	—
營業繕費	—	6,110 円	—	8,110 円	—	14,220 円	—
雜費	—	18,770 円	—	9,800 円	—	28,570 円	—
共濟組合給與金	—	5,810 円	—	11,610 円	—	17,420 円	—
總計	—	258,000 円	—	412,300 円	—	670,300 円	—
						100,000 円	100

第六七 國道十號線(蒲原)改良工事 農村其他應急

緒言

本工事ハ政府ニ於テ農村其他應急土木事業トシテ災害其他ニ原因スル農村現下ノ窮乏ニ對シ焦眉ノ急ニ應ズル爲ニ施行セントスル緊要ナル施設ナルヲ以テ昭和九年十二月十七日工事執行ノ訓令ニ接スルヤ新潟市ヨリ新發田ニ至ル國道十號線中蒲原郡石山村大字鴉又ヨリ同郡大形村大字海老ヶ瀬ニ至ル路線改良ノ爲メ延長三千四百米、工費十萬圓ノ豫算ヲ以テ新タニ道路ノ築設計畫ヲ樹テ本年度内竣功ノ目的ヲ以テ着々準備ヲ進メタリ事業ノ性質上勞働者ハ可及的農村ニ於ケル困窮者ヲ救濟センガ爲メ關係市町村長ノ選定セル者ヲ職業紹介所ノ承認ヲ經テ之ニ優先權ヲ與ヘ使備セリ

計畫大要

本國道ハ新潟縣ノ主都新潟市ト東部重要地新發田トヲ聯絡スル幹線道路ニシテ現在鐵道ハ新潟市ヲ南ニ約二十軒ノ新津町ヲ迂回シテ新發田町ニ至リ恰モ三角形ノ二邊ヲ形成セルニ本道路ハ他ノ一邊ヲ通過スル兩地ノ最短捷徑ニシテ昭和六、七ノ兩年度ニ互リ失業救濟事業トシテ阿賀野川以東ハ既ニ改良工事ノ完了ヲ見自動車ノ交通日ニ頻繁ヲ加フル狀態ナレドモ同川以西ノ舊道ハ幅員狹小ナルハ勿論幾多ノ屈曲ヲ存シ交通上支障夥シク前ニ施行セル改良工事ノ效果ヲ充分發揮スル能ハザルモノナリ

本計畫ハ新潟市、阿賀野川、泰平橋間ニ於テ幅員狹小ニシテ屈曲最モ甚シキ石山村大字鴉又ヨリ大形村大

宇海老ヶ瀬ニ至ル延長三杆四ニ改良工事ヲ施スコトトセリ然ルニ舊道沿線ハ曲折甚シク又人家集團セ
ルヲ以テ工費節約上之ヲ捨テ新潟市都市計畫豫定線ニ據リ中心線ヲ決定シ用地費ノ節減ヲ計リ工事施
行ノ主旨タル勞力費ヲ多額ニ使用スルコトトセリ

而シテ有効幅員ヲ七米五十糎トシ其兩側ニ五十糎ノ路肩部ヲ設ケ有効幅員間ハ横斷勾配ヲ二十五分ノ
一拋物線狀トシ路肩部ハ五分ノ一勾配ヲ附セリ路面ハ平均厚十五糎ノ砂利ヲ敷均シ輾壓スル計畫ナリ
排水設備ハ宅地沿線ハ底幅三十糎、深四十二糎ノ側溝ヲ築設シテ排水ニ備ヘ最急縱斷勾配ハ百分ノ一ト
シ最小縱斷勾配ハ四百分ノ一トス尙屈曲半徑ハ五百米ノモノ二箇所ナリ沿線ハ地勢平坦ニシテ田面高
ハ海面ニ近ク殆ド全線盛土ヲ要シ兩法ハ一割二分又ハ一割五分トシ筋芝ヲ附シ土羽打仕上トセリ
橋梁ノ計畫ハ小舟ノ航行一支障ナキ様夫々桁下高ヲ決定シ何レモ永久的工法ヲ採レリ

施工狀況

昭和九年十二月十七日中蒲原郡石山村大字鴉又ニ事務所ヲ開設シ測量幅杭設置器械類ノ整備等諸般ノ
準備ヲ急ギ土地買収及土取場、線路敷補償等ノ協議調フヲ待テ昭和十年一月二日本工事ニ着手セリ工
事ノ實施ニ際シ當初道路ハ全線ヲ一設計トシ橋梁ハ四箇所トシ石山村大字上木戸地内ニ見張所ヲ設置
シ施行セリ

道路工ニ於テハ搬入土砂ノ散逸ヲ防グ爲メ先ヅ法留杭柵ヲ施シ其進行ニ從ツテ瓦斯倫機關車(四座)二臺
及人力トロニテ築立土ノ運搬ニ力ヲ注ギ併テ砂利類採取、溝工等ヲ施行シ一方橋梁工ニ於テモ極力工ヲ
進メ二月下旬各下部構造ヲ終リテ上部構造ニ移リ道路工ト相呼應シテ年度内竣功ノ目的ニ向ツテ工ヲ

進メタリ而シテ本工事施行區域ハ一帶ニ低地ニシテ海面以下ニ位スル箇所アリ晚秋ヨリ早春ノ間湛水状態ヲ呈スルヲ常トシ本年モ測量當時ヨリ工事着手當初ニ於テハ相當ノ水嵩ヲ示シ一月下旬ニ於テ數日間連續セル荒天ノ際ノ如キハ波浪高ク起リテ恰モ海上ノ觀ヲ呈シ土運搬線路ノ一部ハ一夜ニシテ洗去ラレタルコト在リ前途ノ多難ヲ想ハシムルモノ在リシガ爾來例年ニ比シ降雪降雨ノ量尠カリシ爲メ次第ニ減水シ排水作業、土運搬作業、其他容易ナリシノミナラズ除雪等殆ド皆無ナリシト盛土用土砂ハ民地ヨリ無償提供ヲ得タル等トニ因リ自然工事費豫算ニ剩餘ヲ來シ三月ニ入りテ當初計畫ノ三千米ヲ變更シ更ニ四百米延長施行ノ舉ニ出デシガ時恰モ年度末ニシテ他河川ニ於テ冬期休轉中ナリシ一時貸借ニ係ル瓦斯倫機關車等ノ諸機械ノ借用期間滿了ニ依リ返還スルノ止ム無キニ至リシ爲メ橋梁工事ノ内第一號、第二號、第三號ノ全部ト第四號橋梁ノ大部分ヲ竣功セシメ道路工事ニ於テハ當初計畫ニ對シ九割五分通リヲ竣功セシメタルノミニテ追加變更延長四百米ハ用地買收土工器械ノ整備等ノ關係上未着手ノ儘翌年度ニ繰越スニ至リ全工事ノ八十%ヲ竣功セリ

尙土砂ハ民地ヨリ無償採土セルモ眞土トシテ總土量ノ約一割ヲ補償採土シ道路、橋梁ヲ通ジ最盛期ニ於テハ男女六百名ノ人夫ヲ使役セリ

用地買收及地上物件移轉其他ノ調査ハ十二月中旬開始シ同月下旬是等當初計畫延長三千米分ノ價額ヲ發表協議ヲ遂ゲ年度内ニ大部分ノ支拂ヲ完了スルヲ得タルモ變更追加施行區域延長四百米分ハ翌年度ニ繰越セリ即チ年度内支拂濟ノ地積其他ヲ舉グレバ土地ハ宅地七十九坪一八、田畑其他三町二段三畝二十八步三六、物件移轉其他補償ハ一千六百三十七圓ニシテ計一萬四千二百六十圓ナリ以上本年度ニ於ケル竣功額ハ七萬五千五百九圓ニシテ是ヲ總工費十萬圓ニ比スルトキハ約七割六分ノ竣功ナリ其工事竣

功表次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工（道）				三七八六円		三七八六円	〇・六 割分
事費（橋）				九三二		九三二	
土地買收費			三坪	二一、三三三		二一、三三三	
物件移轉其他補償費			三坪	一、三三七		一、三三七	
器具機械費				七、五〇〇		七、五〇〇	
營業繕給與金				三三三		三三三	
共濟組合給與金				一、四八		一、四八	
雜費				六、七〇〇		六、七〇〇	
總計				五、三三三		五、三三三	

第六八 國道十號線(莊内)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度ニ於ケル時局匡救事業トシテ工費五萬圓ノ處一萬圓ヲ大門國道改良費ニ流用ノ爲メ四萬圓ヲ以テ直轄施行スル國道改良工事ニシテ其施行區間ハ前年度ニ於テ施行セシ山形縣東田川郡押切村ヲ起點トシ同郡新堀村ニ至ル延長八千四百二十六米間ノ砂利敷竝橋梁新設一箇所(長六米)ナリ

計畫大要

本改良工事ハ昭和八年度ノ改良工事ニ於テ未着手ノ路面工竝橋梁架設工事ヲ施行スルモノニシテ盛土地質ハ概ネ粘土質ナルヲ以テ充分砂利ヲ使用セザレバ路面ノ維持困難ナル可キニ依リ下層ニ厚六糎ノ切込砂利ヲ輾壓ノ後更ニ上層ニ厚十二糎ノ仕上砂利ヲ敷均シ輾壓スルモノトシ又橋梁ハ鐵筋混凝土丁型桁斜橋一連ニシテ桁下ハ最高水位ヨリ一米四四トシ構造ハ凡テ道路構造令ニ準ジ決定セリ即チ下部構造ニ於テ橋臺ハ重力式混凝土造トシ基礎ハ厚三十糎ノ礫層ヲ敷均シ末口十八糎、長三米六ノ基礎杭ヲ打込ミ又親柱及高欄ハ鐵筋混凝土造トシ橋面ハ膠石鋪裝ヲ施シ袖石積ハ面三十糎、控四十糎ノ割石ヲ用ヒ練石積ト爲セリ

施工狀況

本年度改良工事ハ路面工並橋梁新設ノ二ニシテ之ヲ詳述スレバ左ノ如シ

一、路面工

(イ) 砂利敷

本工事ハ前年度ニ於テ施行セル路床上ノ砂利敷工事ニシテ使用セル砂利ハ總テ直營採取ノ事トシ春季融雪期出水後直チニ赤川筋ヨリ切込砂利ヲ採取運搬ヲ爲スト同時ニ最上川筋ヨリノ採取運搬ヲモ併セ行ヘリ然ルニ最上川筋ノ砂利採取場ハ新兩羽橋架換箇所下流部ニ春季融雪出水後砂利洲ヲ生ゼシ爲メ採取費ハ非常ニ低下シ普通土砂運搬ト同様零立方米六積土運車ニ依リ最上川筋左岸高水敷高地ニ蓄積シガンリン機關車ニ依リ使用箇所ニ運搬スル事ヲ得採取運搬總量ハ一萬二千六百六十四立方米七ニシテ採取一立方米當四十錢三厘運搬一立方米當二十錢四厘ニ當レリ

敷均シ方法ハ全區間ニ互リ先ヅ厚五糎ノ砂交リ砂利ヲ敷均シ結合土工及輾壓工ト相俟チテ再ビ五糎厚ノ切込砂利ヲ敷均シ同様ニシテ表層ニハ徑二糎四ノ砂利ヲ厚五糎ニ敷均セリ

(ロ) 結合工

本工事ハ砂利敷總量ノ約二十五パーセントノ眞土ヲ採取シガンリン機關車ニ依リ運搬セルモノニシテ砂利敷工事及輾壓工事ト相俟チテ施行セルモノニシテ砂利厚五糎毎ニ厚一糎乃至二糎ノ眞土ヲ三回全區間ニ互リ敷均セリ

(ハ) 輾壓

本工事ハ前二工事ト相俟チテ施行セルモノニシテ初メ四噸ローラーヲ以テ五糎厚ノ砂交リ切込砂利ヲ敷均セルモノヲ輾壓シ終了後八噸ローラーヲ以テ仕上グル事トシ前後三回ニ互リ輾壓セリ尙路床ノ不良

ナル箇所ハ栗材枕木ヲ敷均シ其上ヲ輾壓セリ輾壓面積七萬五千八百二十四平方米ニシテ一平方米當六錢九厘ニ當レリ

二、第一號橋梁新設工事

本工事ハ山形縣東田川郡押切村地内ニ於テ二箇村堰用排水路ニ架設セルモノニシテ有効幅員九米、支間六米一、連斜長六米六二六、交叉角五十三度ヲ有スル丁型單桁斜橋ニシテ下部構造ハ末口十八種、長三米六ノ基礎杭ヲ打チ込ミ礫ヲ敷均シテ荷重ノ分布ヲ均等ナラシメ基礎混凝土ハ厚三十種トシ其上ニ重力式混凝土橋臺ヲ置ケリ橋面ハ床版厚十五種ノ上ニ膠石厚五種ヲ施シ袖石積ハ面三十種、控四十種ノ割石ヲ以テ練積トシ年度末竣功シ橋名ヲ歌枕橋ト命名セリ

本工事ハ年度内ニ全部竣功スルコトヲ得タリ其竣功表ハ次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工道							
橋梁			六	二二,三三九	六	二二,三三九	一〇〇
事費				三,八一九		三,八一九	一〇〇
器具				三,三三九		三,三三九	一〇〇
機械				三,三三九		三,三三九	一〇〇
費				三,三三九		三,三三九	一〇〇
共濟組合給與金				三,一〇〇		三,一〇〇	一〇〇
雜費				八,一四八		八,一四八	一〇〇
總計				三〇,〇〇〇		三〇,〇〇〇	一〇〇

第六九 國道十號線(秋田)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和七年度施行ニ係ル國道十號線秋田縣河邊郡新屋町百三段新屋、同縣秋田市牛島町間改良工事中雄物川橋梁下部工事ニ引續キ昭和八年度ニ於テ工費四十五萬圓ヲ以テ上部工事ヲ施行セルモノニシテ本年度ハ之ガ繰越トナレル工事ヲ施行シ尙工事ノ都合上橋梁前後ノ道路延長五百米ノコンクリート舗裝及昭和七年度施行セル道路ニ敷砂利ヲ施行セリ

計畫大要

雄物川橋梁ハ有効幅員七米五、橋長五百七十八米ニシテ鋼構桁一徑間六十三米ノモノ六連、鋼鈹桁一徑間二十米ノモノ十連、縱斷勾配二百五十分ノ一、床版ハ鐵筋コンクリートニシテ橋面ハコンクリート舗裝ナリ變更設計ニ依リ雄物川橋梁前後取付箇所延長五百米、幅員六米ヲ厚十七糎ニコンクリート舗裝シ尙昭和七年度施行セル道路ノ惡キ路面ニ三千三百平方米ノ敷砂利ヲ施行スルモノナリ

施工狀況

本改良工事ハ昭和八年度ニ於テ鋼構桁、鋼鈹桁及高欄ノ製作並架設工事ヲ東京石川島造船所ニ三十六萬一千圓ニテ請負ニ附シ之ヲ完成セリ又床版工ハ橋桁架設ニ伴ヒ逐次施行シ鋼鈹桁部三連ヲ竣功シ本年

度ハ床版工ノ一部、同鋪裝及高欄親柱竝袖高欄ノ工事ト道路ノ鋪裝及敷砂利ヲ施行セリ橋面鋪裝ハコンクリート一、二、四ノ配合ニ依リ厚十五糎ニ施行シ高欄親柱袖高欄ハ花崗石ニテ造リ之ニ照明裝置ヲ施シタリ橋梁前後ノ道路鋪裝ハコンクリートニテ上層五糎、下層十二糎ノ二層式ニ依リ施行シ延長十米ノ間隔ニ伸縮目地ヲ設ク敷砂利ハ路面ノ土質比較的惡シキ箇所ニ敷均シ三千三百平方米ヲ施行セリ
 本工事ニ使用セル材料中玉石五百三十四立方米、砂利一千二百二十五立方米及砂三百五十二立方米ハ河邊郡四ツ小屋村地内岩見川ヨリ直營採取運搬セリ
 使役勞働者延人員二萬一千四百六十二人ニシテ累計四萬五千六百三十四人、内請負工事ニ使役セルモノ八千四百九十人ナリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工 土路 橋面 梁取	立方米 1,200 平方米 6,000 箇所 1	1,110円 6,000円 6,000円	立方米 1,200 平方米 6,000 箇所 1	1,110円 6,000円 6,000円	立方米 2,400 平方米 12,000 箇所 2	2,220円 12,000円 12,000円	100%
工事費	1,200	13,110円	1,200	13,110円	2,400	26,220円	100%
材料費	1,200	1,110円	1,200	1,110円	2,400	2,220円	100%
器具費	1,200	1,110円	1,200	1,110円	2,400	2,220円	100%
雜費	1,200	1,110円	1,200	1,110円	2,400	2,220円	100%
共濟組合給與金	1,200	1,110円	1,200	1,110円	2,400	2,220円	100%
總計	1,200	13,110円	1,200	13,110円	2,400	26,220円	100%

第七〇 國道十號線(秋田)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ總工費六萬圓ヲ以テ秋田縣由利郡道川村大字勝手、同縣同郡下濱村大字長濱間延長二千二百米ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ秋田市ヨリ本莊町ヲ經テ酒田市及新潟市ニ至ル主要道路ノ一部ニシテ現在省線羽越本線トノ平面交叉四箇所アリ且地形上見透シ惡ク毎年數件ノ交通事故ヲ惹起シ殊ニ近代交通機關ノ發達ニ伴ヒ一般交通ニ不安ト危險トヲ與ヘツ、アリ依テ一部路線ヲ鐵道ノ西側ニ付替ヘ踏切ヲ除キ尙屈曲セラル部分ヲ直シ交通ノ安全ヲ期シ利便ヲ増進セントス

道路ハ有効幅員六米五步車道ノ區別及待避所ヲ設ケズ路面ハ砂利道ニシテ最急縱斷勾配三十分ノ一、最緩縱斷勾配二百分ノ一、最小屈曲半徑百米ナリ

橋梁ハ鮎川、雪川二橋共、橋長二十米ニシテ徑間十米、二連ノ鐵筋コンクリート丁桁橋ニシテ有効幅員六米橋面コンクリート鋪裝トス

施工狀況

本工事ハ昭和九年十二月着手年度内ニ竣功ノ豫定ヲ以テ諸般ノ準備ヲ爲シ直ニ銳意工事ノ進捗ニ努メタルモ時恰モ嚴寒期ニテ且工事箇所ハ日本海ニ直面シ風雪殊ニ強ク寒氣凜烈施工上幾多ノ困難ニ遭遇シ意ノ如ク工事進捗セズ竣功高八割六分ニテ翌年度ニ繰越セリ

道路工事ハ切取土二萬二千五百三立方米、盛土二萬九千六百六十三立方米ヲ施行シ是等土質ハ全部砂ナルヲ以テ路床上ニハ附近山地ヨリ粘土ヲ採取シ路面ニ敷均シ砂利敷及輾壓ハ翌年度ニ繰越セリ

橋梁工事ハ前述セル如ク嚴寒期ノ施工ナレバ日中ト雖モ氷點下ノ低溫ヲ持續シ最低氷點下十度ニ達シコンクリート作業ニハ豫メ風雪防護ノ板圍ヲ爲シ更ニ葦ニテ圍ヒ砂利、砂等ハ熱湯ヲ以テ凍結セルヲ溶シ微溫湯ヲ用ヒコンクリート混合ヲ爲シ尙養生ニハストーブヲ焚キ又薪ヲ燃燒シ保溫ニ努メ銳意工事ノ進捗ニ努力セシモ遂ニ橋臺ノ一部橋體及高欄等ノ工事ヲ翌年度ニ繰越セリ

材料採取ノ砂利ハ河邊郡四ツ小屋村地内岩見川ヨリ、碎石ハ南秋田郡面瀨村雄物川改良工事石材採取場ヨリ採取シ何レモ下濱驛マデ汽車運搬シ更ニトロ又ハ馬轆ヲ用ヒ所要場所ヘ運搬セリ又砂及路面用敷砂利ハ道川村地内海濱ヨリ採取セリ

道路用地ハ大部分鐵道省飛砂防止林地ニシテ管理換ヲ爲シ其他一部ノ下濱村有及民有地ニ對シテハ何レモ寄附ノ申出アリタルヲ以テ之レガ採納ノ手續中ナリ

使役勞働者延人員ハ本年度三萬一千十一人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	本工路側橋樑採										總計	
	土	路面	溝	梁	取	他	費	費	機	具		
前年度迄竣工高												
數量												
金額												
本年度竣工高												
數量												
金額												
合計												
合計												
竣工高												
數量												
金額												
合計												
竣工高												
數量												
金額												
合計												

第七一 國道十一號線(親不知)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ新潟縣西頸城郡青海町大字青海地内延長二軒ノ區間ヲ工費二十萬圓ヲ以テ昭和八年度ニ竣功セシムル豫定ニテ着手セシガ天候其他ノ障害ニ禍セラレ遂ニ工事ノ一部分(工費四萬九千七百圓)ヲ本年度ニ己ムナク繰越シタルモノナリ

本年度ニ於テハ陽春ノ好季節ニ入り工事ハ着々進捗セシガ偶々昭和九年七月十日ヨリ四日間ニ互リ北陸地方ヲ襲ヒタル大豪雨其他數次ノ豪雨ハ甚シク工事ノ進捗ヲ阻害シ特ニ山腹法面ノ崩壞或ハ海岸側擁壁基礎工事等著シク手戻工事ヲ招キタリ

然レドモ其後ハ順調ニ道路橋梁共ニ順次竣功スルコトヲ得昭和十年一月三十一日一切ノ事務ヲ終了シ全工事ヲ竣功セリ

計畫大要

現道ハ親不知子不知ノ險トシテ知ラルル難所ニシテ屈曲甚シク勾配又局部的二十分ノ一ノ急坂アリ幅員概ネ三米内外ナルモ到ル處山崩アリテ人馬ノ歩行ヲ阻ム状態ナリ冬季積雪量多ク山容急峻ナルヲ以テ雪崩ノ危険アルノミナラス山塊ヲ形成スル岩石モ風化セルモノアリテ崩壞ノ虞アリ

本改良區間現道ハ青海町市街地西端ニ於テ直角ニ左折シ青海川右岸ニ沿ヒテ遡リ省線北陸本線ト平面

交叉シ約百米ニシテ同川ヲ木橋ニテ横斷シ海岸線ニ沿ヒ山腹ヲ西走スルモノニシテ改良計畫ニ於テハ大體現道ヲ利用シ屈曲ト勾配トヲ緩和セリ即チ起點附近ノミ道路ヲ新設シ青海川橋梁ハ之ヲ徑間三十米連續桁式鋼鈹桁三連トシ青海町市街地西端ヨリ海岸ニ平行シテ架設シ更ニ海岸ニ沿ヒテ進ミ跨線橋ニテ省線ヲ渡リ以西ハ現道ヲ擴築スルコトトセリ改良道路ノ總延長ハ二杆内橋梁二箇所九十八米ニシテ有効幅員六米之ニ路肩各五十糎ヲ加ヘ總幅員七米、横斷勾配四%、縱斷最急勾配五%、長百六十米、最小曲線半徑二十米ナリ盛土法勾配ハ海岸ニ面シタル部分ハ四分以下ノ練石積トシ其他ハ一割以上ナリ又山腹切取箇所ハ岩質ニ依リ二分乃至七分切取箇所法先ニハ幅三十糎、深三十糎乃至四十糎ノ側溝ヲ設ケ路面ハ砂利道或ハ碎石道トシ歩車道ノ區別ヲ設ケズ水路横斷箇所ニハ廣狹ニ依リ鐵筋コンクリート床版橋一、同函渠一他ニ通路横斷箇所ニ鐵筋コンクリート函渠一、其他水拔用鐵筋コンクリート管敷設五箇所アリ

施工狀況

道路工事ニ關シテハ前年度ニ引續キ山腹法面ノ切取ト數次ノ豪雨ニ依リテ崩壞シタル法面ノ切直シ並大量ノ崩土片付ヲ施行セリ而シテ之ガ作業ハ硬岩ニ在リテハ手掘ニテ穿孔之ニ爆藥顛充ノ上爆破シ一方軟岩ニ在リテハ鶴嘴スコップ等ニ依リ切崩ヲ行ヒ生ジタル土砂ハ殆ンド海岸側法面ニ投棄セリ盛土工事ハ主トシテ青海川橋、跨線橋間ニ於テ施行セシモノニシテ土量八千百立方米ヲ要シタリ盛土作業ハ道路兩側玉石練積擁壁ヲ高サ一米積上ル毎ニ海濱ヨリ零三立方米乃至零立方米六積土運車ヲ捲揚機ニテ引揚ゲ施行セルモノナリ

擁壁ノ高サハ路盤面迄七米乃至十三米築上タリ基礎ハ三十馬力電動機付口徑二百五十四耗渦卷唧筒ニ
臺ニテ排水ノ上幅二米、深二米、配合一、四、八玉石入混凝土ニテ築造シタリ

路面工ハ山腹法面ノ崩土タル花崗岩ノ風化セル土砂交リ碎石ヲ利用シ之ヲ全線ニ敷均シ搗固メ極メテ
良好ナル路面ヲ得タリ

路面竣成ト共ニ斷崖其他交通上危險ノ虞アル箇所ニハ防護柵ヲ設置之ガ總延長一千三十米ナリ又道路
用地ト民地トノ境界ニハ之ヲ示ス混凝土杭ヲ適當ナル間隔ニ建設セリ斯テ道路工事ハ昭和九年十二月
十四日竣功スルヲ得タリ

橋梁工事ニ關シテハ二箇所ノ内青海跨線橋ハ前年度ニ於テ橋臺ニ基全部完了橋體工モ鐵筋混凝土丁型
桁五通り並床版混凝土ノ支保工及型枠組立ヲ終了セシモノニシテ本年度ニ於テハ同混凝土工及床版面
ニ厚五糎配合一、二ノ膠石鋪裝ヲ施シタリ而シテ鋪裝ノ橫斷勾配ハ二%ト爲シタリ床版及鋪裝ノ完成ヲ
俟テ其兩側ニ鐵筋混凝土造厚十五糎、總延長二十三米四八ノ高欄ヲ施工シ昭和九年八月三十一日竣功シ
タリ青海川橋梁工事ハ前年度ニ於テ下部構造ノ大半ヲ完了セシモノニシテ本年度ニ於テハ右岸橋臺ノ
築造並上部構造ノ架設ヲ施行シタリ

右岸橋臺ハ高一米五〇ノ混凝土ヲ施工完成スルヲ得タリ上部構造即チ鈹桁製作架設並塗工工事一切ヲ
請負ヒタル東京市京橋區銀座一丁目三番地株式會社櫻田機械製造所ノ鈹桁假組立検査ハ昭和八年十一
月二十五日ニ終了引續キ現場運搬迄ヲ完了本年度ニ繰越シタル架設及塗工ハ下部構造ノ完成ヲ俟ツテ
四月五日ニ着手四月三十日架設及塗工ヲ終リタリ鈹桁架設ニ引續キ橋床工事ニ取掛リ一徑間長三十米
ヲ一區畫トシテ橋長九十米ヲ三回ニ區分シ配合一、二、四ノ床版混凝土ヲ施シ尙其上ニ厚五糎、配合一、二、二

總計	公共組合給與金	雜費	營繕費	器具機械費
104,881	221	1,712	200	2,662
217,004		11,184	17,801	17,114
1100,000	221	1,712	11,184	2,662
1,000				

第七二 國道十一號線(親不知)改良工事

時局匡救

緒言

新潟縣西頸城郡青海町ヨリ同郡市振村ニ至ル延長十五軒餘ノ現在國道ハ所謂親不知子不知ノ險所ニシテ屈曲甚シク勾配モ局部的ニ急ニシテ十分ノ一ノ急坂所々ニ存在シ幅員概ネ三米内外ナルモ到ル所山崩アリテ人馬ノ歩行ヲ阻ム惡路ナリトス裏日本ヲ通ズル唯一樞要幹線タル本國道ノ改良ハ最緊急事ナルヲ以テ國ハ之ヲ直轄事業トシテ昭和八年度ニ於テハ工費二十萬圓ヲ以テ青海起點ヨリ二千米ヲ本年度ニ於テハ引續キ工費十八萬五千圓ヲ以テ其終點ヨリ二千八百十二米ヲ改築スルコトトナレリ本工事ハ本年度中ニ完成ノ豫定ナルヲ以テ極力進捗ヲ計ルベク起點側及終點側ヨリ同時ニ開始セシモ本施工箇所ハ僻陬ニシテ施工上不便尠カラズ工事用材料運搬ハ入力ニ依ルノ他ニ方法ナク而モ道路トナルベキ路面ハ崩壞岩石並土砂ノ堆積ニ依リ足場惡シク加ヘテ山腹法面ノ地層惡質ナルヲ以テ作業中上方ヨリノ土砂崩壞岩石剝落等ノ突發的危險ヲ餘義ナクサレ作業上絶エズ注意ヲ要ス更ニ作業地狹隘ニシテ危險ナル爲メ勞力ヲ一時ニ集中シ能ハザル憾アリサレド不撓不屈銳意工事ノ進捗ニ努メタレドモ深谷跨線橋繼足工事ノ如キ鐵道省トノ折衝意外ニ遷延シ年度内ニ協定ヲ見ズ着手シ能ハザルモノテアリ已ムナク工事ノ一部分(工費九千二百圓)ヲ翌年度ニ繰越スニ至レリ

計畫大要

改良計畫ニ於テハ大體現道ヲ利用シ屈曲ト勾配トノ緩和ヲ計リ海拔二十米乃至三十米ノ山腹ヲ切劈キテ改築スルモノナリ昭和八年度施工終點ニ接續シテ現道ニ沿ヒ西走シ北陸本線深谷隧道入口ニハ跨線橋ヲ洞川外二箇所ノ峽谷ニハ夫々橋梁ヲ架設シタリ

改良道路總延長二千八百十二米○六内橋梁四箇所四十八米ニシテ有効幅員六米之ニ路肩各五十糎ヲ加ヘ總幅員七米、橫斷勾配四%、最小屈曲半徑十四米、最急縱斷勾配六・七%ナリ

盛土箇所ハ側法ヲ一割二分乃至一割五分トシ筋芝ヲ植付ケシモ海岸側ハ斷崖ニシテ法勾配ヲ利用シ得ラルル箇所少ク全線殆ンド連續シテ法勾配四分以下ノ練石積ヲ築上ス而シテ斷崖高クシテ練石積ヲ使用スルノ不利ナル箇所ニハ特ニ鐵筋混凝土造ノ棧道ヲ架設スルコトトセリ

切取箇所ハ側法ヲ三分乃至一割トシ法先ニハ幅三十糎乃至四十糎ノ側溝ヲ設ク而シテ山腹急峻ニシテ岩石落下或ハ雪崩襲來ノ虞アル箇所ニハ鐵筋混凝土造洞門ヲ又斷崖其他路線中急屈曲部ニハ路肩ニ高サ一米ノ防護柵ヲ設置シ以テ交通ノ安全ヲ計レリ路面ハ砂利敷或ハ碎石敷トシ歩車道ノ區別ヲ設ケズ水路橫斷箇所ニハ廣狹ニ依リ鐵筋混凝土床版橋三箇所、水拔用鐵筋混凝土管敷設十二箇所ヲ施工スルコトトセリ

次ニ新設橋梁四箇所ノ設計概要ヲ記スレバ左ノ如シ

名稱	有効幅員	徑間數	全橋長	上部構造ノ材料型式	下部構造ノ材料型式	路面構造	親柱材料及
深谷跨線橋	三・一五 ^米	一	一八・三 ^米	鐵筋混凝土	重力式混凝土	鋪裝	鐵筋混凝土

施 工 状 況

洞 川 橋	大 峯 橋	立 岩 橋
六・〇〇	六・〇〇	六・〇〇
一	一	一
一〇・六	四・二	一五・二
同 丁型桁四本	同 床版	無 同 鉸 填 背 拱
同 粗石混凝土	扶壁式 鐵筋混凝土	鐵 筋 混 凝 土
同	砂利敷	混 凝 土 鋪 裝
同	同	同

本工事箇所ハ前年度ノ引續キナルガ故ニ工事施行ニ關シテハ昭和九年四月一日ヨリ青海町事務所ニ於テ着々準備ヲ進メタリ路線ノ測量ハ既ニ前年度中ニ之ヲ了シ工事設計モ四月早々開始用地ニ對シテハ四月中ニ大部分ノ起工承諾ヲ得更ニ七月七日ニハ土地買收及物件移轉補償ニ就キ協議ヲ行ヒタリ用地買收區域決定ニ當リテハ從來道路法先タル海岸ヨリ石灰岩或ハ花崗岩ノ採掘ヲ行ヒタル爲メ道路法面ニハ崩壞ヲ來シ隨ツテ道路ハ跡形モナク荒廢ニ歸シタル狀況ニ鑑ミ海岸側ハ海濱迄、山側ハ切取法面保護必要ノ程度ト爲シタリ工事材料機械器具ノ購入及運搬等諸般ノ施工準備略々整ヒタルヲ以テ工事區間延長二千八百十二米ヲ二分シ起點側及終點側ヨリ五月二十日夫々土工工事ヲ開始セリ

本工事ニ於テハ急屈曲及急坂多キ輕員三米内外ノ現道ヲ幅員七米以上ニ擴張スルヲ要シ加フルニ山腹ノ勾配ハ前年度ニ比シ一段ト急峻ニシテ高三十米乃至五十米以上ニ達スル岩盤直壁所々ニ屹立シ又延長四百米ニ互ル斷層區間アリ其地質ハ火山灰中ニ轉石ヲ存在セルモノ或ハ風化花崗岩ニシテ幅二十糎乃至三十糎ノ無數ノ龜裂ヲ有シ全ク集結性ナキ山地ノ斜面ヲ爲セルモノアリテ前者ハ降雨毎ニ漸次流

失崩壞ヲ爲シ後者ハ切取中頻々ト崩壞ヲ來シ漸ク出來セル路形モ立ドコロニ跡形モナク破壞スルガ如キ箇所アリ而モ全線ヲ通ジ切取完了後ト雖モ山腹ノ法面ハ風雨雪等ニ禍セラレ各所ニ崩壞ヲ起シ從ツテ折角形成セラレタル路面ハ全ク閉塞セラレ之ガ跡片付容易ナラザルモノアリ斯クシテ年度内ニ切取リタル土量ハ正ニ十一萬立方米ヲ突破スルニ至リ本工事ハ一貫シテ切取工事ニ在リト云フモ過言ニアラザル状態ナリトス

山腹ノ岩質ハ花崗岩或ハ石灰岩ヲ以テ形成セル山塊ニシテ之ガ切取作業ハ路盤上數十米ノ高サヨリ順次下方ニ切崩スモノニシテ人力及空氣壓縮機ヲ運轉鑿岩機ニ依リ穿孔シ之ニ爆藥ヲ填充電氣雷管又ハ普通雷管ヲ使用爆破セシメ更ニ龜裂部分ハ全部八角鋼鑿ニ依リ切崩シタリ見上グルモ岩石見下スモ亦岩石ノ眞只中ニ在リテ作業スル從業員ノ危險ヲ虞レ災害防止ノ爲メ其施設並方法ヲ示セバ次ノ如シ

一、切崩從業員ニハ鐵兜ヲ用ヒ頭上ニ落下スル小岩石ニヨル傷害ヲ防グ

二、切崩箇所ニシテ頭上ニ岩石落下ノ虞アル時ハ上方ニ木柵ヲ設置シテ災害ヲ防止シ特ニ崩落甚シキ箇所ハ見張番人ヲ附シ下方ニ作業スル者ノ災害ヲ未然ニ防グ

三、急斜面切崩シニ當リテハ從業員各自上方ヨリ命綱ヲ下ゲ足場ノ岩盤崩落ニ依リ轉落スルヲ防グ

四、切崩作業ヲ行フ時ハ先ヅ上方ノ岩盤ヲ調査シ崩落ノ虞アルモノハ豫メ全部之ヲ落下セシメ然ル後作業ニ着手ス

五、岩石爆破ニ際シテハ點火直前ニ鈴ヲ鳴シテ合圖トシ床旗ヲ立テテ危險區域ヲ表示ス尙區域外ニハ見張番人ヲ附シ不注意ニ区域内ニ侵入スル者ヲ監視ス

斯シテ切崩シタル岩石ハ海拔二十米乃至三十米ノ路盤ヨリ海濱水際迄一體ノ斜面ヲ形成スルモ日ナラ

ズシテ波ニ浚ハレ海底ニ没スルナリ更ニ路盤面ヨリ上ノ切崩ハ畚或ハトロニ依リ海濱ニ投棄シテ路盤面ヲ形成セシメタリ

切取ヲ大體終了シタル時ハ路面幅員ヲ得ル爲メ海岸側ニ擁壁ヲ築造ス擁壁ハ間知練石積ヲ以テシ間知石ハ附近ノ岩盤ヲ撰ビテ採取セリ又之ニ要スル砂、砂利ハ女人夫ニ依リ海濱ヨリ採取運搬スルカ或ハ石油發動機ヲ路盤上ニ据付ケ捲揚機ニ依リテ海濱ヨリ引揚ゲタルモノヲ使用シタリ年度内ニ築造シタル擁壁ハ全線ヲ通ジ三千五百二平方米ニ及ビタリ擁壁ニテハ擴幅不可能ナル箇所ハ鐵筋混凝土棧道ヲ築造スル計畫ナリシモ年度内ニ着手スルニ至ラズ

盛土箇所ハ殆ンド切取土ヲ利用シ年度内竣功高ハ六千八百二十立方米ナリ切取箇所ノ法先ニハ側溝ヲ設ケ幅三十糎、深三十糎乃至四十糎トシ割石積工或ハ配合一、三、六混凝土工トセリ側溝ノ掘鑿ハ各所岩盤ノ爲メ小爆破ニ依ルノ外ナク施工難澁ヲ極メタリ

横斷水路用溝橋ハ三箇所ニシテ何レモ年度内ニ竣功シ橋臺ハ配合一、三、六ノ混凝土、床版ハ配合一、二、四ノ鐵筋混凝土ニテ築造シタリ

路面ハ土工擁壁、側溝等ノ進捗ニ伴ヒ漸次着手シ先ヅ路床ノ下敷トシテ徑十糎内外ノ割石ヲ敷均ベ人力ニテ搗固メ其上ニ崩壞山腹法面ヨリ得タル風化花崗岩ノ土砂交リ碎石ヲ厚十糎敷均シ人力ニテ充分搗固メタリ岩石落下雪崩襲來ニ依リ道路破壊セララルル虞アル測點二千百三十米附近ニハ鐵筋混凝土ノ洞門ヲ築造スル計畫ニシテ之ガ工事ハ基礎及柱ヲ完成シタルモ竣功ニ至ラズ

前述ノ如ク道路工事ニアラユル努力ヲ傾注シタル結果道路ハ略々完成スルヲ得タレ共橋梁工事ニ於テハ道路工事中ハ材料運搬等意ノ如クナラズ洞川、大峯、立岩ノ三橋ハ下部構造ニ着手セシノミニテ上部

造ハ之ヲ翌年度ニ繰越シタリ又深谷跨線橋ハ鐵道省トノ接衝意外ニ手間取リ年度内着手不可能トナリ
 タリ
 終リニ各工事ニ使用シタル砂利、砂、割石等ノ年度内採取數量ハ夫々一千八百二十八立方米、九百五十九立
 方米、百二十七立方米ナリ
 尙本工事ニ使用スベキ労働者豫定人員ハ六萬六千四百五十人ニシテ年度内使用人員ハ八萬三千八百十
 八人、之ニ支拂ヒタル勞力費ハ八萬九千八百五十圓ナリ
 以上本年度竣功高十五萬五千三百九十七圓ニシテ之ヲ總工費十八萬五千圓ニ比スル時ハ約八割四分ノ
 竣功ニ當レリ其工事竣功表ハ次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工事費						
道橋				108,086		108,086
土地買収				4,811		4,811
物件移轉其他補償費				6,176		6,176
器具機械				1,621		1,621
營繕費				6,455		6,455
雜費				1,766		1,766
共濟組合給與金				691		691
總計				128,969		128,969
竣功割合						84.0%

第七三 國道十一號線(大門)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ國道十一號線ヲ改良スルモノニシテ其區間ハ富山縣射水郡小杉町大字三ヶヨリ同郡大島村大字北野ニ至ル延長四千七百八米五トシ當初總工費三十萬圓ナリシガ富山石川國道改良工事ニ流用ノ爲メ五萬一千圓ヲ減額シ二十四萬九千圓ヲ以テ施行中ノ處昭和九年七月十一日庄川筋洪水ニ依リ上流堤防缺壞シ之ガ爲メ本工事路線ノ大半ハ越水流失セルヲ以テ復舊費トシテ一萬圓ヲ増額シ二十五萬九千圓ヲ以テ施行スルモノナリ

計畫大要

國道十一號線中富山高岡兩市間ハ富山縣隨一ノ樞要ナル道路ナルモ幅員狹小ニシテ最小三米五ニ過ギズ自動車ノ行違ヒ全ク不可能ナル所多ク屈曲亦甚シク且鐵道トノ平面交叉實ニ七箇所ヲ算ス故ニ富山市ヨリ小杉町ニ至ル間ノ如キハ車馬ハ概ネ本國道ヲ避ケテ縣道ニ依リ辛ジテ用ヲ辨スルノ現況ナリシヲ以テ富山縣ニ於テハ曩ニ之ガ改良ヲ企圖シ富山市小杉町間延長一萬六百八十一米三七ハ目下工事中ナリ因テ本工事ハ之ニ接續シテ小杉町大字三ヶヨリ大島村大字北野庄川右岸堤防ニ至ル區間ヲ改良スルモノニシテ總幅員ハ縣施行ニ係ル區間ニ倣ヒ十一米ニシテ兩側ニ各五十糎ノ路肩ヲ有セシメテ有効幅員ヲ十米トシ歩車道ノ區別ヲ設ケズ路面ハ當初計畫ニ在リテハ中央七米四ヲ路床厚十五糎ノ栗石ヲ

敷並べ其中中央六米ハ之ニ瀝青簡易鋪裝ヲ施シ他ハ厚平均八糎ノ砂利敷トスル豫定ナリシモ其後工費五萬一千圓減セラレタル結果鋪裝ヲ廢シ有効幅員十米ノ間ニ厚十五糎ノ栗石ヲ敷固メ上層ハ厚八糎ノ砂利敷ニ變更シタリ路面横斷勾配ハ二十五分ノ一雙曲線トシ路肩五十糎ハ十五分ノ一トス全線盛土ニシテ法勾配一割五分ノ筋芝仕付トシ全線通ジテ幅三十糎ノ側溝ヲ設ケ外側ハ幅十二糎ノ混凝土壁ヲ以テ民地トノ境界ヲ兼ネシメ内側ハ法勾配平均三分ノ一玉石空積トシ終點庄川右岸堤防附近約百六十米ノ高キ盛土箇所ハ特ニ練積ノ擁壁ヲ築クモノトセリ縱斷勾配ハ庄川右岸堤防取付箇所ノ六十分ノ一ヲ最急トシ他ハ極メテ緩勾配ナリ屈曲ハ三箇所ニシテ其中心線半徑モ極メテ大ニシテ九百六十一米〇五ヲ最小トシ他ハ一千米ナリ用惡水路横斷箇所ニハ其大小ニ應ジテ鐵筋混凝土溝橋矩形暗渠又ハ鐵筋混凝土管ヲ敷設スルモノナリ

施工狀況

本年度ニ入り前年度ニ於テ發表シ未承諾ノマ、線越セル小杉町大字三ヶ地内ノ宅地其他ノ應諾ニ依リ土地買収及物件移轉全部ノ完了ヲ見タリ路床盛土土砂ハ工事區間終點タル庄川敷ヨリ採取シ機械運搬セルト附近田面ヨリノ無償採土人力運搬ノ二方法ニ依リ亦路面ハ栗石及砂利ヲ敷均シ六颯輾壓機ニテ充分輾壓シツツ工事ヲ進メタリ然ルニ七月十一日庄川筋洪水ニ依リ五籽上流右岸堤防淺井村西廣上地先其他數箇所ノ破堤トナリ大門町ニ在ル當事務所ハ浸水混凝土床上一米五五ニ達シ辛フジテ重要書類ノミ二階ニ持運ビタリ午後十二時二十分濁流ハ省線北陸本線ヲ突破シ工事中ノ中心杭自一千四百八十米至四千百六十米ノ内二千二百八十米ハ氾濫路面上ヲ越エ激流ト化シ爲ニ路床盛土土砂一萬四千立方

米側溝一千八百十二米、路面四千五百六十平方米及材料トシテ積置タル砂利七百二十立方米其他ノ流失被害ヲ蒙リタリ是等ノ復舊ハ急速ヲ要シ七月十五日ヨリ着手セルモ關係町村出役人夫ノ大部分ハ家屋ノ浸水其他田畑ノ被害等其慘狀亦廣範圍ニ互レルト破堤箇所ノ應急工事等ノ爲メ出役スルモノ少ナク地元町村ト聯絡ヲ採リ出役ニ努メ盛土土砂ハ主トシテ路線附近ノ田面ニ堆積セル流失土砂ヲ人力運搬シ側溝玉石ハ流失セルモノヲ拾ヒ集メ材料採取ノ如キモ人夫採取トシ專ラ工費ノ低廉ヲ計リ路面ハ輾壓機二臺及人力輾壓トニ依リ充分ニ仕上ゲ三月末日ヲ以テ全ク竣功セリ

一、土地買收及物件移轉 本年度ハ新ニ發表シタルモノナク前年度ヨリ未承諾ノマ、繰越セル小杉町大字三ヶ地内宅地百九坪三五ノ買收代金三千二百八十圓五十錢及池地七步買收代金二十八圓並物件移轉料一千八百六圓五十八錢四厘ノ承諾アリ之ガ支拂ヲ了シタル外電柱移轉其他補償料百七十圓八十六錢四厘ヲ支拂ヒタリ

一、路床 本工事ハ前年度ニ於テ工事區間全般ニ互リ大體路線ノ形態ヲ備ヘ從テ軌條ノ布設等整備シ居レルヲ以テ四月中旬盛土土砂運搬ニ着手セリ當路線附近ハ全ク平坦ナル耕地ニシテ土取場トナルベキ丘陵ナキ爲メ終點タル大島村大字北野地先庄川敷ノ土砂ヲ三處五瓦斯倫機關車ニヨリ木製トロニ積込ミ十臺乃至十三臺ヲ聯結全線ニ互リ運搬セル外路線附近ニ於ケル比較的地盤高ク灌漑ニ不便ヲ感ズル田面ヨリ無償採土ノ交渉ヲ受ケ表土ヲ除キ厚平均約十五糎宛掘起シ近距離ハ畚又ハ籠ニ依リ遠距離ハ木製トロヲ使用シ人力運搬セリ災害ノ前日タル七月十日現在ニハ既ニ出來形歩合九十五%ニシテ未竣功箇所ハ小杉町ノ一部ト終點庄川堤防取付箇所附近ノミニシテ此未竣功土量ハ二千九百六十五立方米トシ竣功目睫ニ迫リツツアリシニ翌十一月ニ於ケル災害ノ結果既ニ盛土全部竣功シタル區間中心杭

自一千四百八十米至三千九百九十九米ノ内一千九百九十九米ニ互リ盛土ノ一部又ハ在來地盤以下一米餘ノ深ニ洗掘サルル等土量一萬四千立方米ノ流失ヲ見タリ七月十五日其復舊ニ着手シ前述ノ瓦斯倫機關車ニ依ルノ外路線附近災害ノ爲メ田積ニ土砂堆積シ恰モ荒蕪地ト化シタル箇所ヨリ地主及小作人ノ懇請ヲ入レ畚又ハ籠ニ依リ遠距離ハ木製トロヲ使用人力運搬セリ

本年度機械土運搬量九千七百八十九立方米三（内災害復舊ノ分四千五百九十六立方米）人力運搬量一萬三千六百六十四立方米七（内九千四百四立方米）其他切取り及溝橋等ノ利用土四十三立方米二アリ總計二萬二千九百九十七立方米二（内災害復舊ノ分一萬四千立方米）ヲ十二月三十一日竣功シ是等盛土ハ人力ニ依リ築立搗固メタリ土羽打ハ法面二十糎乃至三十糎毎ニ充分搗固メ筋芝ヲ仕付ケ全線三千三百十二平方米九ヲ十月十七日竣功セリ筋芝ハ主トシテ庄川右岸堤防天端ヨリ支障ナキ範圍ヲ直營ニ依リ採取セリ

一、擁壁 本工事ハ前年度未竣功ノ部分玉石練積六百六十四平方米七ヲ十二月十八日竣功セリ

一、路面工 本工事ハ本年度ニ入り本格的ニ工事ニ着手セル爲メ災害ノ七月十一日現在出來形僅ニ八%ニ過ギズ被害區域ハ中心杭自二千百二十至四千百六十米ノ内四千五百六十平方米ニシテ栗石二百九十二立方米一、砂利三百立方米ノ流失ニ止レリ災害箇所再度施工及他部分施工ト相俟ツテ栗石及砂利敷ヲ爲シ眞土ヲ用ヒ道路輾壓機二臺及人力ニ依リ充分輾壓ヲ爲シ三月二十九日竣功セリ

一、側溝 側溝ニハ用水路兼用ノU字型ノモノト内側ハ玉石空積外側ハ用地境界ヲ兼ヌル混凝土壁ヲ以テ造リタルモノトアリ本年度ハ十二月十二日ヲ以テ延長五千九百七十六米四ヲ竣功セリ尙此内中心杭自一千七百七十六至四千百六十米ノ内一千八百十二米ハ七月十一日ノ災害ニ依リ流失セル爲メ八月五日復舊ニ着手シ玉石ハ流失セルモノヲ附近ヨリ拾ヒ集メ施工シ十月十一日復舊完成セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
雜費	—	一九三七 円	—	八七〇 円	—	二八〇七 円	—
共濟組合給與金	—	四三	—	二八四	—	三二七	—
總計	—	一九八〇七	—	一九〇四	—	二一八、〇〇〇	一〇〇

本工事は、昭和二十六年四月一日から二十七年三月三十一日まで行われ、その間に、

一、本工事の概況は、昭和二十六年四月一日から二十七年三月三十一日まで、

二、本工事の進捗状況は、昭和二十六年四月一日から二十七年三月三十一日まで、

三、本工事の費用は、昭和二十六年四月一日から二十七年三月三十一日まで、

四、本工事の成績は、昭和二十六年四月一日から二十七年三月三十一日まで、

五、本工事の今後の見込みは、昭和二十七年四月一日から二十八年三月三十一日まで、

六、本工事のその他の事項は、昭和二十七年四月一日から二十八年三月三十一日まで、

七、本工事の附帯事項は、昭和二十七年四月一日から二十八年三月三十一日まで、

八、本工事の参考資料は、昭和二十七年四月一日から二十八年三月三十一日まで、

九、本工事の調査結果は、昭和二十七年四月一日から二十八年三月三十一日まで、

十、本工事の結論は、昭和二十七年四月一日から二十八年三月三十一日まで、

第七四 國道十一號線(金澤)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ國道十一號線中金澤市下大樋町ヨリ山ノ上町三丁目ニ至ル延長一千百六十米ノ區間ニ改良工事ヲ施行スルモノニシテ工事費二十萬圓ナリトス然ルニ該區間ハ金澤都市市計畫街路トシテ決定告示セラレタルモノニシテ本計畫ニ依ル幅員十五米ハ右計畫幅員十九米一ニ比シ四米一ノ差アリ石川縣ハ將來再ビ擴築スルノ困難ナルニ鑑ミ此際同時ニ擴築方ヲ稟請シ之ガ認可ヲ得之ニ要スル工費四萬三千圓ニ相當スル土地材料勞力其他ヲ提供シ其施行ヲ委託シ來レルヲ以テ總工費二十四萬三千圓ヲ以テ之ガ改良擴築工事ヲ施行スルモノトス

昭和八年四月二十日開始、八年度内ニ竣功セシムル豫定ナリシガ一部用地買收ニ應ゼザルモノアリ加ヘテ北陸地方稀有ノ大降雪ニ遭遇シタル爲メ甚シク工事ノ進捗ヲ阻害セラレ昭和九年度ニ三萬五千圓(外ニ石川縣提供豫算額ノ内九千圓)ヲ繰越サレタルモノニシテ昭和十年一月三十一日竣功セリ

計畫大要

本改良區間ハ金澤市ヲ縦貫スル幹線ノ北端ニ位シ富山縣及能登方面ニ通ズル唯一ノ道路ナルガ幅員狹小ニシテ僅ニ二米五内外ニ過ギズ屈曲亦多クシテ半徑三十米ヲ出デザルモノアリ最急勾配十八分ノ一ナル箇所アリテ交通ノ繁劇ヲ加フルト共ニ支障最モ著シク改築急ヲ要スルモノナリトス

本計畫中心線ハ金澤都市計畫街路中心線ニ據ルコトトシ金澤市下大樋町ヲ起點トシテ百六十米附近ニ於テ舊路線ヨリ右ニ分岐シ直路河北郡小坂村字談議所及山ノ上地内ノ田地約九百四十米ヲ縱貫シ金澤市山ノ上町終點ニ至ルモノニシテ擴築延長百四十米、新設延長一千二十米ナリトス幅員ハ前記ノ如ク十九米一トシ中央車道ヲ十三米一兩側歩道各三米ニ區分ス縱斷勾配ハ金腐川橋梁前後取付ノ爲メ三十五分ノ一（延長五十米）五十分ノ一（延長二十八米）ヲ最急トシ他ハ地勢ニ應ジ九十分ノ一乃至四百分ノ一トス横斷勾配ハ車道ヲ二十五分ノ一ノ拋物線勾配トシ歩道ハ三十分ノ一トス路面ノ構造ハ歩車道共砂利敷トシ車道ハ十糎乃至十五糎厚ニ栗石ヲ敷均シ之ニ厚十一糎ノ敷砂利ヲ施シ歩道ニハ厚八糎ノ敷砂利ヲ施スモノトス排水設備トシテ車道兩側ニ街渠ヲ其直下ニ排水渠ヲ設ケ車道及歩道ヨリノ水ハ街渠ヨリ十米毎ニ設ケタル鐵蓋ヲ通ジテ排水渠ニ導ク側溝ハ人家連擔區域ニノミ設置シ沿道民家ヨリノ排水ヲ集メテ二十米毎ニ内徑十五糎ノ土管ニ依リ又交叉道路ノ側溝ヨリ來ルモノハ直接排水渠ニ導キ全線七箇所ノ用排水路暗渠内ニ排出セシム暗渠及水拔ハ合計十九箇所ニ及ビ稍大ナルモノハ函型鐵筋混凝土暗渠トシ小ナルモノハ既製鐵筋混凝土管ヲ敷設ス街路樹ハ全區間ヲ通ジ兩側歩道ニ各百十七箇所、計二百三十四箇所ニ植付クルモノトス金腐川ヲ横斷ノ爲メニハ新ニ長十二米七ノ鐵筋混凝土橋梁ヲ架設ス

施工狀況

本工事ハ前年度ニ於テ六割一分ヲ竣功シ降雪等ノ爲メ殘餘ヲ繰越シタルモノニシテ本年度ニ於テ道路工事ハ盛土全量ノ四割七分、兩側土留混凝土同二割、側溝同八割、暗渠及水拔同二割五分、排水渠同三割七分、街渠同三割五分、路面工同六割餘ヲ施行、橋梁工事ハ前年度ニ於テ其大部分ヲ完成セルヲ以テ本年度ニ於

テハ橋面ノ鋪裝及高欄ノ一部ヲ施行シテ全ク竣工シ材料採取モ亦所要量ノ殘部ヲ採取セリ用地ハ前年度中ニ殆ド全部ヲ買收セルヲ以テ本年度ニ於テハ橋梁袖石垣用地及取付道路敷地ノ一部合セテ宅地四坪四七ヲ買收セルニ過ギズ

本工事使用延人員本年度一萬八千四百四十二人、累計五萬六千八百八十四人、此賃金本年度二萬四百九十八圓三十九錢、累計六萬三千六十二圓九十八錢一日平均出役人員本年度六十八人、累計百人ナリ

本年度竣工額ハ三萬六千九百九十三圓ニシテ起工以來累計十九萬九千九百五十五圓ナリ其工事竣工表左ノ如シ但シ表中「●」ハ石川縣ノ委託工費ヲ示ス

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	米	●	米	●	米	●	割合
工事	平方米	●	平方米	●	平方米	●	100
橋梁	立方米	●	立方米	●	立方米	●	100
材料採取	立方米	●	立方米	●	立方米	●	100
土地買收	坪	●	坪	●	坪	●	100
物件移轉其他補償費	坪	●	坪	●	坪	●	100
器具機械費	●	●	●	●	●	●	100
營業繕費	●	●	●	●	●	●	100
雜費	●	●	●	●	●	●	100
共濟組合給與金	●	●	●	●	●	●	100
總計		1,400,000		1,400,000		1,400,000	100

第七五 國道十一號線(富山石川)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ曩ニ産業振興事業トシテ改良工事ヲ施行セル國道十一號線中富山石川兩縣界天田峠切下箇所ノ地ニ地域延長四百十米ノ區間ニ追加工事ヲ施スモノニシテ昭和八年度時局匡救事業トシテ豫算五萬一千圓ヲ以テ同年十一月工ヲ起シ銳意功程ノ進捗ニ努メタリシモ冬季積雪ノ爲メ施工不可能ニ陥リ工事費三萬一千四百圓ヲ九年度ニ繰越シ施行セシガ九年七月豪雨地ニ際會シ工事費一萬圓ヲ増額シテ工事ノ遂行ヲ圖リ年度内之ヲ完成セリ

計畫大要

富山石川兩縣界ハ礪波山脈起伏連亘シ古來北陸道ノ難所トシテ源平兩氏興亡ノ歴史ト共ニ著名ナル俱利伽羅峠ノ嶮峻ハ明治十一年之ヲ同山脈中天田越ノ鞍部ニ移シ新ニ道路ヲ開鑿シテ稍人馬ノ來往ニ便シタリト雖モ路線概ネ緩流ニ沿ヒ山腹ヲ辿リテ紆餘急坂ヲ成シ幅員亦狹小剩ヘ山麓ニハ鐵道踏切四箇所介在シテ危險少カラズ近代交通情勢ニ適應セザルニ鑑ミ昭和七年度以降産業振興事業トシテ之ガ改良工事ヲ實施シ八年十月略々竣工ノ域ニ達セシガ偶々峠切下箇所ニ大地ニ發生シ既定計畫豫算ヲ以テシテハ工事遂行不可能トナリシガ爲メ之ヲ打切竣工ト爲シ地ニ帶延長四百十米(富山縣側九十米石川縣側三百三十米)ノ區間ニ對シテハ計畫ヲ更新シ追加工事トシテ八年度時局匡救事業費ヲ以テ施行スル

コトトナレリ

地之ノ發生ハ南側ハ石川縣側ノミニシテ北側ハ富山、石川兩縣側ニ跨ル而シテ其南側ナルハ山地勾配極メテ急峻ナルヲ以テ崩壞土量ノ切所ニ隨ヒ逐次崩落ヲ來スノ虞アルニ鑑ミ之ヲ避ケンガ爲メニ道路中心線ヲ四米乃至七米北側ニ寄セ又切取土量ヲ輕減シ且脚部掘鑿ニ因ル土砂ノ壓出ヲ防止スル爲メ稍路面ヲ高メ縱斷勾配ヲ十分ノ一乃至十二五分ノ一ニ變更（元計畫十五分ノ一）セリ

切取法勾配ハ一割五分乃至二割トシ直高六米毎ニ幅二米ノ小段ヲ設クル計畫ナリシモ施工中豪雨ニ際シ法面ノ大半崩壞シテ小段設置ノ餘地ナキニ至リシヲ以テ法勾配ヲ總シテ二割五分ニ緩和セリ

土留擁壁ハ地質ニ應ジ直高一米乃至三米五、幅五十糎乃至八十糎ノ練石積トシ路面ハ栗石十五糎厚ニ施行目潰ヲ爲シ八糎厚ニ敷砂利ヲ施ス

施工狀況

地之地域ノ山地買収及土捨場補償ノ調査ト相俟ツテ昭和八年十一月一日工ヲ起シトロ、畚負籠等ヲ併用シ崩壞土砂ノ切取排除ニ全力ヲ傾注セシガ時既ニ晩秋ニ入り荒天連日爲メニ崩壞土ハ泥濘化シテ膝ヲ沒スルニ至リ作業意ノ如クナラズ剩ヘ十二月下旬ヨリ降雪ヲ見、九年一月上旬工事現場ニ於テ最高二米一ニ達セルガ如キ數十年來稀有ノ堆雪狀況ヲ現出シ遂ニ一月中旬ヨリ三月末日迄全ク工事中止ノ已ムナキニ至リ九年度早々ヨリ工事ヲ再開繼續セシガ時恰モ農繁期ニ際會シ就勞者佛底ノ爲メ著シク功程ノ進捗ヲ阻害セラレ六、七、八ノ三箇月間ニ於テ一氣ニ工事ヲ達成センコトヲ期待セシニ七月中旬豪雨ノ爲メ施工地域内又復土砂ノ崩壞ヲ來シ既定工費ノ範圍内ニ於テハ工事遂行期シ難キニ至リシヲ以テ更

ニ工費ヲ増額シテ崩壞土量ヲ取除キ切取法勾配ヲ二割五分ニ緩和スルト共ニ帶芝、張芝及松苗ヲ植付ケ且地亡地帯ノ排水ヲ一層良好ナラシムル爲メ既定計畫ノ混凝土及杭柵ニ依ル開渠ノ構築ニ代ユルニ切取法面一帯ニ鐵線蛇籠ノ盲暗渠ヲ施設シテ將來ノ定固ヲ圖リ十年三月末日ヲ以テ完成セリ

年度内功程次ノ如シ

工種	稱呼	富山側	石川側
切取	立方米	一八、五〇九	二七、一二六
盛土	〃	—	三、七四〇
擁壁	米	四五	五四二・五
路面	平方米	七九〇	二、二四〇
側溝	米	一〇一	九五三
溝工	箇所	—	—
排水	米	一二五	六五〇
採石	立方米	二五五・九	一、〇六二・六

以上本年度ニ於ケル竣功額ハ四萬二千百三十七圓ニシテ累計六萬一千圓ナリトス

工事竣功表次ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費一道路		九、四〇〇 円		三、二二〇 円		四、一八〇 円	二〇〇 割分
土地買收費	三坪	一、三〇〇	二坪	一、三〇〇	五坪	二、六〇〇	一〇〇
物件移轉其他補償費	六段	一、八二五	六段	一、八二五	一二段	三、六五〇	一〇〇
器具機械費		一、八〇〇		一、四〇〇		三、二〇〇	一〇〇
營業繕給與金		三三〇		八六		四一六	一〇〇
共濟組合給與金		三三〇		一六		三四六	一〇〇
雜費		四三〇		五〇		四八〇	一〇〇
總計		一八、八〇〇		四、一〇〇		二二、九〇〇	一〇〇

第七六 國道十二號線(岐阜)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本國道改良工事々業區域ハ岐阜縣稻葉郡厚見村大字下川手字東村中ヨリ同縣同郡加納町柳町ニ至ル區間ニシテ名古屋市及岐阜市ヲ聯絡スルト共ニ一面東海道ト中仙道トヲ連繫スル産業交通上共ニ重要ナル十二號路線ノ一部ナリ

然ルニ從來ノ國道ハ平坦ナレ共幅員狹隘ニシテ屈曲多ク殊ニ終點附近ノ甚シキ紆餘曲折ハ頻繁ナル交通運輸上ニ頗ル困難ヲ來シ且危險ニシテ之ガ改良ハ其最モ急務トセル處ナリ

偶々昭和七年度政府ニ於テハ時局ニ鑑ミ産業開發事業トシテ羽島郡柳津村ヨリ稻葉郡厚見村ニ至ル延長二千五百米ノ改良工事ヲ施工シ續イテ昭和八年度ニ於テハ時局匡救事業トシテ其終點ヨリ稻葉郡加納町ニ至ル區間ヲ總工費二十五萬圓ヲ計ヒシ年度内ニ竣功セシムル豫定ヲ以テ直轄施工スル事トナリシモノナリ

仍テ昭和八年五月三日工事ニ着手シ爾來銳意事業ノ進捗ヲ圖リ工事實施ノ結果豫算ニ餘裕ヲ生ジタルヲ以テ當初計畫一千七百四十七米ノ處ヲ更ニ延長百六十一米(昭和九年五月一日ヨリ八號路線ニ變更サル)ノ追加工事ヲ施行スル事ニ昭和九年三月一日設計變更ノ認可ヲ得年度内ニ當初計畫區域ヲ竣功シ追加工事ハ九年度ニ繰越シ施行シ十二月十五日竣功セリ

計畫大要

本工事ノ計畫線ハ岐阜市都市計畫既定中心線ヲ其儘踏襲シテ本工事ノ中心線トセリ
 工事起點ヨリ荒田橋迄一千六百七米九十糎ハ有効幅員ヲ十一米トシ中央六米幅ハ車道トシテ混凝土鋪
 裝ヲ爲シ其兩側二米五十糎宛ハ歩道トシテ車道寄りノ一米幅ハ瀝青乳劑鋪裝ヲ施シ外側一米五十糎ノ
 部分ハ混凝土鋪裝トス尙荒田橋ヨリ終點迄三百米十糎ハ全幅及有効幅員共ニ十五米トシ中央九米幅ヲ
 車道トシテ混凝土鋪裝ヲ爲シ其兩側三米ノ歩道ハ混凝土ブロック張鋪裝トス
 工事ハ土工、橋梁、材料採集、溝橋、法留、擁壁、路面、排水溝、取付道路、境界標等ノ各工種ニ分類設計シテ施行セリ

施工狀況

工事施行ニ關シテハ岐阜縣羽島郡笠松町ニ國道改良事務所ヲ設置シ木曾川、厚見、荒田川ノ三派出所ヲ設
 ケテ夫々工事ヲ擔當セシメ八年度中ニ當初計畫區域ノ工事ヲ竣功セシメタリ而シテ擔當工事ノ終了ス
 ルニ從ヒ木曾川、荒田川兩派出所ハ十二月末日厚見派出所ハ三月末日ニ閉鎖シ事務所モ亦三月末ニ笠松
 町ヨリ加納町ニ移轉ヲ爲セリ九年度ニ於テハ五月木曾川派出所ヲ再開シテ材料採集ヲ爲シ又柳町派出
 所ヲ新設シテ追加工事區域ノ諸工事ヲ擔當施行セシメ十二月十五日ニ至リ全工事ヲ竣功セリ
 用地買收ニ付テハ當初ヨリ極力調査ヲ急ギ從來ノ起工承諾ノ手續キヲ省キテ初メヨリ本契約ヲナシ急
 速ニ着工スルコトニ務メタリ而シテ前年度中ニ當初計畫區域及追加工事區域分ノ土地買收並移轉物件
 共百五十九件全部承諾濟トナリ當初計畫區域分一件追加工事區域分二十一件ヲ本年度ニ繰越シ支拂ヒ
 ヲ爲セリ

本年度中施行ノ各工種別ニ依ル工事施行概況ハ次ノ如シ

土工ハ大部分盛土ニシテ工事擔當區域ノ關係上之ヲ厚見、荒田川、柳町ノ三工事ニ區別ス厚見、荒田川ノ兩土工ハ當初計畫區域ニ屬シテ既ニ前年度中ニ竣功シ本年度ニ於テハ追加工事區域ノ柳町土工ノミヲ施行セリ六月十六日着工ス當初ニ盛地、敷地ニ於ケル全移轉家屋跡ノ掃除ヲ行ヒ續イテ切土ヲ爲シ其内一部分盛土ニ不適當ナル土質ノモノハ捨土シテ良質ノモノハ盛土ニ利用セリ尙不足分ハ稻葉郡厚見村大字下川手地先境川改修新水路ヨリ前年度採集ノ殘土ヲ掘鑿シ馬力運搬ニテ盛土ヲ施工シ八月十五日竣功セリ

橋梁ハ荒田橋、柳橋ノ二橋ニシテ荒田橋ハ既ニ前年度中ニ竣功シ本年度ハ追加工事區域ニ於ケル柳橋ノ架設ヲ爲セリ同橋ハ稻葉郡加納町地先法專寺川ニ橋長四米八十四糎、有効幅員十五米、鐵筋混凝土丁型桁橋ヲ架設スルモノニシテ五月一日着手、八月三十一日竣功セリ

路面工ハ工事起點荒田橋迄有効幅員十一米ノ區域ハ中央六米幅ヲ車道トシテ混凝土鋪裝ヲ爲シ其兩側二米五十糎宛ハ步道トシテ車道寄り一米ヲ瀝青乳劑鋪裝、其外側ハ混凝土鋪裝トス尙荒田橋ヨリ終點迄ノ有効幅員十五米ノ區間ハ中央九米幅ヲ車道トシテ混凝土鋪裝ヲ爲シ其兩側三米幅ノ步道ハ混凝土ブロック鋪裝ノ計畫ニシテ當初計畫區域ハ前年度中ニ竣功シ本年度ハ追加工事延長百六十一米ノ區域ヲ七月一日着手盛土ノ進工ニ從ヒ四廻、八廻、十廻半ノデイーゼル輾壓機ヲ以テ路盤輾壓ヲ爲セリ地盤ノ土質ハ不良ノ箇所多クシテ容易ニ輾壓完了セズ長期ニ互リ漸ク完全ナル輾壓ヲ爲シ續イテ鋪裝ヲ施行シ十二月十五日竣功セリ

溝橋工ハ全區域ニ互リ函型溝橋五箇所及鐵筋混凝土管十七箇所ヲ施行スルモノニシテ當初計畫區域分ハ前年度中ニ竣功シ本年度ハ追加工事區域ニ於ケル鐵筋混凝土管ノ伏設四箇所ヲ七月十六日着手八月

三十一日竣功セリ

排水溝ハ追加工事區域ニ於ケル路面排水用トシテ道路兩側ニ設クルモノニシテ六月二十一日着手八月三十一日竣功セリ

取付道路工ハ全區域ニ互リ新國道ト從來道路トノ取付工事ヲ三十箇所施行スルモノニシテ當初計畫區域ニ屬スル二十六箇所ハ前年度中ニ施行竣功シ本年度ハ追加工事區域分四箇所ヲ九月十六日着手十月十日竣功セリ

材料採集工ハ各工事ニ使用スル砂利、砂、礫及玉石ヲ木曾川河敷内ニ於テ直營採集シ所要ノ現場迄運搬スルモノニシテ採集ニハ沿岸ノ船夫ヲ使役シ運搬ハ貨物自動車及馬車ヲ用ヒ各工事ノ必要ニ應ジ採集運搬ヲ爲セリ當初區域分ハ前年度中ニ完了シ追加工事分ハ五月十一日着手十月十五日竣功セリ

本事業ニ使役スル人夫ニ關シテハ現下ノ失業狀態ニ鑑ミ之ガ緩和ニ資スベク着工當初ニ於テ名古屋地方職業紹介事務局、岐阜縣社會課及關係市町村ト打合セテ爲シ時局匡救ノ政策ニ萬遺憾ナキヲ期シタリ而シテ本事業ニ使役セル勞働者數ハ前年度五萬六千七百六十三人ニシテ本年度一萬八百二十二人、合計六萬七千五百八十五人ニシテ是等多數ノ失業者竝生活困窮者ニ對シ多額ノ勞働賃金ハ恰ク配潤セラレ一面工事材料購入ニ依ル地方經濟上ニ齎ラス好影響ハ亦疲弊セル地方民匡救ニ顯著ナル効果アリシ事一般ニ等シク認めラルル處ナリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	一〇四七米	八三三三円	一〇二二米	九六九八円	一〇六九米	九〇三二円	一〇〇
工橋	箇所一	二四九四	箇所一	五〇七	箇所二	二六三一	一〇〇
事橋	立方米七八五	二四〇八	立方米二〇〇	二二〇〇	立方米九八五	四六〇八	一〇〇
費用	二五段	五七九七	三段	一四〇八	二八段	四二〇五	一〇〇
用地							
器具		五三三		三三八		九七二	
營業		二八九				二八九	
雜費		一四〇一		七九七		二一九〇	
共濟組合給與金		三六		三三		六九	
總計		二四八四		四七〇二		二四九三	一〇〇

第七七 國道十二號線(福井)改良工事

時局匡救

緒言

本國道改良工事區域ハ福井縣吉田郡圓山西村大字松本地方ヨリ同郡中藤島村大字高木ニ至ル延長約二千五百米ノ區間ニシテ國道十二號路線ニ屬ス

本路線ハ所謂北陸道ニシテ幅員狹隘ナルノミナラズ徒ラニ屈曲多ク且當地方ハ四季ヲ通ジテ降雨量大ナレバ濕潤ノ期長ク剩ヘ路面ノ平坦ハ其排水ヲ困難ナラシメ損傷ヲ受クルコト大ナリ斯ノ如キハ輓近超速ノ發達ヲ爲セル高速度交通機關ノ通路トシテ放置スルヲ許サズ加之本邦屈指ノ機業地タル當地ニ於ケル物資ノ圓滑ナル運輸ヲ期ス能ハザル状態ニシテ早晚其改良ヲ必要トスルトコロナリキ

偶々昭和八年度陸軍特別大演習ノ舉行地トシテ越前平野ノ指定セラルルニ及ビ改良工事執行ノ期ヲ促進セラレ昭和七年度末政府ハ時局ノ趨勢ニ鑑ミ議會ノ協賛ヲ經タル時局匡救事業ノ一トシテ福井縣管内ニ於テハ本國道改良工事ヲ選定セルモノニシテ總工費二十五萬圓ヲ計上シ昭和八年度ニ於テ內務省ニ於テ直轄施行スルコトトナレリ

計畫大要

本改良工事地點ハ福井市ト吉田郡トノ市郡界ヲ起點トシ圓山西村大字松本地方町屋、幾久ヲ經テ中藤島村大字高木ニ至ル福井市ノ郊外地ニシテ地勢概シテ平坦ナリ道路ノ幅員狹隘ニシテ屈曲殊ニ甚シク路

面ノ排水亦不完全ナルノミナラズ橋梁、暗渠其他ノ構造物ハ概ネ木造ニシテ腐朽セルモノ尠カラズ降雨期ニ於テハ惡水時ニ路上ニ氾濫シ交通ハ爲メニ杜絶スルノ端ムヲ得ザルコトアリ故ニ本工事ノ計畫ニ當リ是等ノ缺點ヲ除去シ近代交通機關ノ公道トシテ適セシムベク企圖セルハ論ヲ俟タザルナリ

本計畫路線ハ福井市都市計畫ノ二等大路第二類第一號路線ニ概ネ準據シ現國道ニ並行シテ比較的人家ノ閑散ナル箇所ヲ略々北進シ鐵道省北陸本線ヲ斜交角約三十六度三十分ニ跨線シテ現國道ニ合致スル直線路ヲ選定シ道路ノ効用最モ大ニシテ工費最モ僅少ナルベキ中心線ヲ決定セリ有効幅員九米ニシテ全延長二千四百九十九米一一ナリ

而シテ北陸本線トノ交叉ハ避クベカラザルモノニシテ近代の道路トシテ交通ノ安全ヲ期スル爲メ立體交叉トセリ先之三國蘆原電鐵株式會社ノ電車線ハ一時的ニ水平交叉ヲ許シ將來之ヲ立體交叉ニ改メ跨道セシムルモノトス

本工事ハ時局匡救事業トシテ起工セシモノナルガ故ニ其趣旨ニ依リ勞力ヲ本位トシ機械力ノ利用ハ從テ就勞率ノ減殺ヲ免ガレザルヲ以テ可成人力ニ依ル計畫トシ土工、橋梁、溝渠、側溝、擁壁、路面、附替水路取付道路、境界杭設置、駒止ノ各工種別ニ分類シ設計ヲ樹テ事業ノ遂行ヲ圖リタリ

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和八年四月福井縣吉田郡圓山西村町屋ニ國道改良事務所ヲ設置シ同六月船橋、高木ノ二派出所ヲ設ケ夫々所員ヲ配置シ事務ヲ擔當セシメタリ而シテ工事施行延長ニ就テハ實施設計トシテ二千四百九十九米一一ヲ計畫シ昭和八年五月十九日承認ヲ得テ施行スルコトトナレリ本工事ハ昭

和八年度内ニ於テ竣功セシムル豫定ノ處年末ヨリ二月ニ互リ近年稀ナル大降雪ノ爲メ一般工事中止ノ状態トナリ橋梁九十九%、道路九十四%ノ竣功工程ヲ以テ餘儀ナク年度ヲ繰越スコトトナレリ斯テ繰越豫算五千百九圓八十九錢ヲ以テ年度早々工事ニ着手ノ豫定ナリシモ豫算ノ配賦遅延シ七月二十七日漸ク配賦ヲ受ケ直チニ殘工事土工、砂利道、取付道路、附替水路、境界杭設置、駒止、第一號及第六號橋梁ニ着手シ昭和九年九月三十日全部竣功セリ

用地買収ニ就テハ當所ニ於テ直接其事務ヲ取扱ヒ前年度末承諾分三件、土地九畝一步一勺、此代金八百四圓五十三錢ヲ支拂ヒ昭和九年十月二十三日全部終了セリ

土工ハ前年度中土量五萬五千七百立方米ヲ九頭龍川堤外地ヨリ機關車ヲ以テ運搬シ本年度ハ芝付跡片付等ヲ爲シ九月三十日竣功セリ

砂利道ハ幅員六米鋪裝ノ兩側ニ各一米五十宛ノモノヲ前年度中一千五百二十米ヲ了シ本年度ハ一千四百三十一米ト幅員九米ノモノ延長五百九米五〇ヲ施行シ竣功セリ

取付道路ハ全線ヲ通ジテ四十七箇所ヲ算シ前年度ニ三十五箇所ヲ施行本年度ハ十二箇所ヲ竣功セリ附替水路ハ三箇所ニシテ水路上幅一米乃至一米八〇ト爲シ總延長二百七十五米ニシテ全部竣功セリ

境界標ハ道路敷ト民有地トノ境界ヲ設定スベク混凝土標柱ヲ購入シ所定ノ箇所ニ百二十本ヲ建設セリ「駒止ハ北陸本線跨線橋前後ノ盛土ノ高大ニシテ危険ナル箇所ニ延長三十一米二〇ヲ施行セリ

第一號及第六號橋梁ハ前年度ニ於テ大體ノ工事ヲ了シ本年度ニ於テハ高欄ノ仕上跡片付等ヲ以テ全部竣功セリ

昭和八年度中使用セル勞働者ハ延人員五萬一千百四十七人ニシテ本年度ハ二千八百七十人ヲ使用シ合

計五萬四千十七人ニ及ビ當初計畫豫定人員ノ五萬三千八百七十人ヲ超過シ豫期ノ実績ヲ舉ゲ得タリ本
 工事竣功表ハ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合計		歩竣 合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工(道)路	米	111,714円	米	3,326円	米	115,040円	1・00
橋	箇所	5,564箇所	箇所	675箇所	箇所	5,630箇所	1・00
用地	一段	2,002K	一段	805	一段	4,681	1・00
器具		6,647				6,647	
營業		1,804		112		1,916	
雜費		11,112		1,211		12,323	
共濟組合給與金		5,479				5,479	
總計		110,447		5,150		115,597	1・00

第七八 國道十二號線(小松)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ國道十二號線中石川縣能美郡小松町泥町ヨリ同郡板津村字島田ニ至ル延長一千百五米(内道路一千二十九米、橋梁七十六米)ノ區間ニ改良工事ヲ施行スルモノニシテ工費十五萬圓ノ所二萬五千圓ヲ増額シ合計十七萬五千圓トシテ昭和九年度中ニ完成セシムル豫定ナリシガ後述ノ如ク手取川大洪水破堤ニ依ル水災ノ餘波ヲ受ケ加ヘテ勞力ノ拂底ノ爲メ遂ニ其竣功ヲ見ルニ至ラズ工事費二萬一千二百四十六圓ヲ十年度ニ繰越シタリ

計畫大要

本改良區間ハ小松町ヲ縱貫スル幹線ノ北端ニ位シ金澤方面ニ通ズル要衝ニ當リ車馬輻輳シ通行ノ繁劇日ニ加ハリ從來ノ狹小ナル幅員ト屈曲甚シキ線形トヲ以テシテハ交通ノ支障最モ著シキモノトス曩ニ小松町ハ昭和五年度昭和七年度兩度ノ大火災ニ遭フヤ銳意其復興ニ努メ町内ノ道路亦大部分改良セラレ獨リ本區間ノミ舊態依然タリ加フルニ昭和八年ノ洪水ハ梯大橋ヲ流失セシメ現ニ假橋梁ヲ以テ焦眉ノ急ニ充ツ是本區間ノ改築ヲ要スル所以ナリ

計畫中心線ハ起點ヨリ二百五米迄ハ現在道路ニ據ルモノトシ夫レヨリ新路線ハ直路梯川ヲ渡リ測點三百八十米ヨリ約百十八米ノ半徑ヲ以テ約七十五度右偏シ以後直線路ヲ以テ終點ニ到ルモノトス

幅員ハ七米五トシ起點ヨリ梯川橋梁ニ至ル間ノミ取付ノ爲メ九米トス横斷勾配ハ二十五分ノ一拋物線形トシ兩側ニ各々五十糎ノ路肩ヲ設ク小松町地内ハ其兩側ニ幅員三十糎ノ側溝ヲ設ケ盛土一米乃至二米八ニ互ル區間ニハ鐵筋混凝土又ハ混凝土擁壁ヲ以テ土留トス板津村及牧村地内ノ盛土ハ法面勾配一割五分ノ土羽芝付トシ法尻ニハ土留トシテ水田ニ面スル部分ノミ高六十糎ノ混凝土ヲ施ス路床ハ平均厚十二糎ニ栗石ヲ敷均シ目潰砂利ヲ施シテ輾壓ヲ加ヘ十糎厚ニ敷砂利ヲ施シ更ニ輾壓スルモノトス用惡水路トノ交叉ハ溝橋又ハ暗渠ニ依ルモノトシ其構造ハ何レモ鐵筋混凝土造トス

梯川ニ架設スベキ橋梁ハ全長七十六米ニシテ中央徑間三十一米、兩側徑間二十二米五ノ三聯突桁式鈹桁橋トシ橋臺及橋脚ハ基礎杭打混凝土造トス

施工狀況

本工事ハ昭和九年六月二日開始、用地ノ買收及家屋其他物件ノ移轉、調査、器械ノ蒐集等諸般ノ準備ヲ進メ工事着手ノ運ビニ至リタルニ昭和九年七月十一日手取川ノ大洪水ハ左右兩岸ノ堤防ヲ缺壞シ能美平野ニ溢流セルモノハ安宅町附近（梯川河口）ニ於テ梯川ニ合流シ海ニ注グ狀態ニシテ本工事區域ハ其河口ニ近キ低濕地ナルガ故ニ湛水一米餘ニ及ビ遲々トシテ減水ヲ見ズ其後兩三回ノ増水ハ湛水量ヲ一進一退セシメ手取川應急締切工事ノ完成ヲ俟テ九月末漸ク工事ヲ進メ得ル程度ノ減水ヲ見タル有様ニシテ十月中旬本格的進工ヲ見ルニ至リタルモ軌近中小機業工場ノ好況ト軍需品工業ノ地方普及ニ依ル鐵工業ノ隆盛ハ手取川災害應急及復舊工事ノ着手ト相俟テ勞力ノ拂底其極ニ達シ工事ノ進捗ニ甚大ナル影響ヲ及ボセリ即チ一日最大出役人員二百八十人、平均七十一人ニシテ延人員二萬九十九人ニ及ブト雖モ概

ネ他地方及縣外ニ之ヲ需メタルモノニシテ其數九十五パーセントニ達ス
本年度中出役人員二萬九十九人此賃金二萬七千三百六十四圓ニシテ本工事ノ七十五%ヲ竣功シ殘餘ヲ
十年度ニ繰越シタリ

道路工事中盛土ハ土量一萬七千餘立方米ニシテ附近ニ適當ナル採取地ナキヲ以テ大部分ハ約三籽ヲ隔
ツル海岸ニ近キ砂丘ヨリガソリン機關車(七廔)ヲ以テ運搬スルコトトシ起點寄二百四十米間ニ要スル土
量二千六百餘立方米ノ内一千七百立方米ハ梯川高水敷ノ剩餘土ヲ人力ニ依リ運搬スルコトトシ九年度
中一萬五千三百八十八立方米ニ成功セル外側溝三百六十四米、擁壁二十米五、暗渠三箇所、溝橋四箇所、水拔
四箇所ヲ竣功シ殘餘工事約三十%ヲ昭和十年度ニ繰越セリ

橋梁工事ハ下部橋臺及橋脚各二基ノ内年度内三基ヲ完成シ得タルモ左岸寄橋臺ハ基礎ヲ終リタルニ止
マリ完成ノ域ニ達セズ上部ハ鋼材ノ製作運搬ヲ終リタレドモ組立架設ヲ十年度ニ繰越シタリ

道路及橋梁用材料ノ内砂ノ全部及砂利ノ一部ハ安宅町地先海岸ヨリ船夫ヲシテ採取運搬小松町地内ニ
陸揚ゲセシメ殘部ノ砂利及玉石、栗石ハ約九籽ヲ隔ツル手取川ニ於テ採取ノ上一時堤塘上ニ堆積シ必要
ニ應ジテ自動車ニ依リ運搬スルコトトシ本年度中採取ハ八割、運搬ハ七割ヲ成功セリ

用地トシテ買收セルモノハ田七段二畝二十一步六九、畑三畝二十步、宅地五百六十坪一四、山林四步ニシテ
物件移轉建物八十戸、其他九十七件ニシテ此總金額五萬六千三百九十五圓ナリトス

本年度ニ於ケル竣功額ハ十四萬七千五百二十五圓ニシテ工費總額十七萬五千圓ニ比スレバ約八割四分
ノ竣功ナリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道							割合
工事							
橋							割合
費							
材料							割合
採取							
土地							割合
買収							
物件							割合
移轉							
其他							割合
補償							
器具							割合
機械							
營業							割合
繕							
共濟							割合
組合							
給與							割合
費							
雜費							割合
計							
總計							